

2020 年度

第 1 回 派遣留学説明会

日 時：2020 年 7 月 28 日（火）18：00～19：20

1. 大学を通じて応募する留学プログラムの見通しについて (18:00 - 18:30)

鹿児島大学グローバルセンター学生海外派遣部門長 畝田谷桂子

2. 派遣留学生による留学体験報告 (18:30 - 18:50)

重慶大学(中国)留学／法文学部4年 新原 千尋

3. 個別相談 (18:50 - 19:20)

留学後帰国した学生が、個別相談に応じます。

添付資料

1. 大学を通して応募する留学～With コロナ状況での留学可能条件～
2. 鹿児島大学協定校派遣留学生募集要項 p. 1
3. 各協定校の語学要件 p. 11
4. 学術交流協定校一覧（大学間・部局間） p. 14
5. 学術交流協定校への留学実績表 p. 16
6. 鹿児島大学学生海外留学支援事業 p. 18
7. 日本学生支援機構海外貸与奨学金 p. 19
8. トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム p. 21
9. 鹿大「進取の精神」支援基金（長期派遣）募集要項一式 p. 23
10. 鹿児島県清華大学留学支援奨学金 p. 33
11. 鹿大 21 世紀版薩摩藩英国留学生派遣事業「UCL 稲盛留学生」 p. 47
12. パース市イマージョン英語プログラム (PUPILS) p. 49
13. 鹿児島大学を通して応募する海外研修・海外留学一覧 p. 58

ミーティング情報

• 全体ミーティング

URL : <https://zoom.us/j/93705121099?pwd=bnEvcIBXdOFMVkRNWIZvSmFFV2k1dz09>

ミーティング ID : 937 0512 1099

パスワード : ryuugaku

• 個別相談セッション (18:50~)

当日は以下の6グループに分かれて個別に相談できます。

1.トビタテ! 留学 JAPAN について

URL : <https://us02web.zoom.us/j/83337709418?pwd=STJhZnVwaWs0d0hqejh3UVdHd2dadz09>

ミーティング ID: 833 3770 9418

パスワード: tobitate

2.北米への留学について

URL : <https://zoom.us/j/97820747776?pwd=aFBTTIIIU1F3ZmZLc2pWdIpVORwZz09>

ミーティング ID : 978 2074 7776

パスワード : 466774

3.オーストラリアへの留学について

URL : <https://us04web.zoom.us/j/75663897295?pwd=TDkvRER4bjFXSmIYRnNIR1dVbGFrUT09>

ミーティング ID : 756 6389 7295

パスワード : 791354

4.中国への留学について

URL : <https://us02web.zoom.us/j/86254968402?pwd=MWlaTIVsYXBoQ111N21udlNXtTBQQT09>

ミーティング ID : 862 5496 8402

パスワード : 123456

5.韓国への留学について

URL : <https://us02web.zoom.us/j/4371549080?pwd=ZHdlZkFIMGFuZnp6SmFsakg1MERQQT09>

ミーティング ID : 437 154 9080

パスワード : 3mwnKp

6.ヨーロッパへの留学について

URL : <https://us04web.zoom.us/j/3666283891?pwd=TDVMQ1h6ZlFaQ3NnSOt2Rmh1c1BUZz09>

ミーティング ID : 366 628 3891

パスワード : 6XxaQG

2020年度第1回派遣留学説明会

大学を通して応募する 留学

～With コロナ状況での
留学可能条件～



グローバルセンター
学生海外派遣部門HP

<https://www.gic.kagoshima-u.ac.jp/sad/sad.html>

話の内容

1. 大学を通して応募する留学とは？ -----特徴と種類の概観
2. With コロナ状況での留学可能条件
3. 大学を通して応募する留学 -----各プログラムの説明
4. 応募できるタイミング
5. 奨学金の種類、探し方
6. 問合せ先、鹿大の情報提供サイト

1. 大学を通して応募する留学とは？

-----特徴と種類の概観

海外体験

・海外研修 共通教育、各学部等授業

・留学

・海外インターンシップ

・海外ボランティア

・ワーキングホリデー など

授業科目
(集中講義)

留学企画や手続きは自力で！

個人で申込む留学

奨学金は自分で探す
休み期間 or 「休学」

・鹿大に授業料払わない

・長期は卒業が遅れる

・旅行会社、生協、エージェント、自分でネット申込み

大学を通して応募する留学 奨学金つき

1. 協定校への派遣留学
(1学期～1年) 「留学」

・年1回 募集 **2020年10-11月** ・選抜 **12月**

2. トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム
(28日～1年) 「休学」

・年2回募集・選抜 **次回募集未定**

・文部科学省で選抜←学内で応募者指導

・奨学金, 留学準備金, 授業料 (語学除く年**30万**)

・海外実地体験(必須) + 語学学校在籍も可能

3. 鹿大「進取の精神」支援基金 (長期派遣)
(10週間～1年) 「休学」

・年1回募集・選抜 **2021年2月予定**

4. 鹿児島県清華大学留学支援奨学金 「留学」
(9月～1月)年1回募集・選抜**2021年3月予定**

・中国語語学留学(人文学院対外漢語教学センター)

5. 鹿児島大学21世紀版薩摩藩英国留学生派遣事業
「UCL稲盛留学生」修士課程 (1年) 「留学」

・年1回募集・選抜 **2020年9-10月 予定**

6. パース市イマージョン英語プログラム
(夏休み**5週間**) 募集・選抜 **2021年 5月予定**

鹿児島大学を通して応募する 海外研修・海外留学一覧

- <https://www.kagoshima-u.ac.jp/kokusai/Overseas%20Training.pdf>



2. With コロナ状況での 留学可能条件

1. 留学先国・地域が日本国外務省海外安全情報「**危険レベル1**」以下
(**感染症危険情報**含む) -----外務省海外安全情報
2. 自分の国籍(例:日本人)が**受入先国政府の**入国拒否対象でない
-----外務省海外安全情報
3. **受入大学**が交換留学生を受入れる -----受入先大学HP
4. 受入先国政府が「**留学生ビザ**」を発行する(ビザ発給制限解除)
-----各国大使館HP
5. 出入国に際し、**日本政府と受入先国政府の規則、要請**に従える
6. 帰国後、**本学の規則、要請**に従える
7. **保護者の承諾**が得られる
8. 各派遣プログラムが要求する書類、誓約書を揃えることができる

ハードルが高くてめまいがする……!!

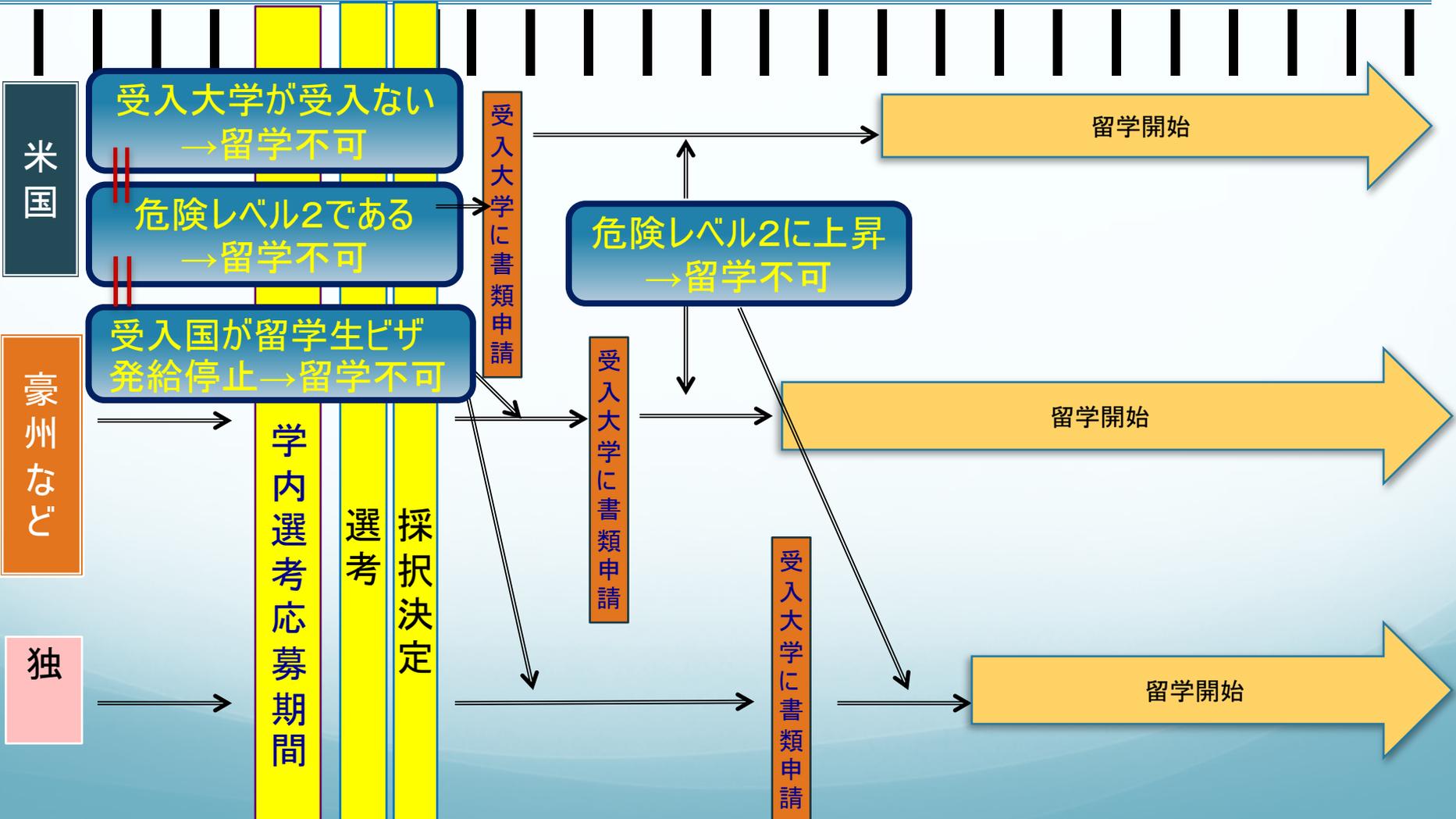
具体的なイメージ 例：大学間協定校派遣留学

2020年

2021年

2022年

8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5



3. 大学を通して応募する留学

-----各プログラムの説明

1. 協定校への派遣留学（1学期-1年）



2019年度生
35人採択!

- ・ **2021年度募集：2020/10月中旬-11月予定**
- ・ **書類審査&面接：12月中・下旬予定**
 - ※ 選考後→**派遣候補生**として**3～9ヶ月準備**
派遣大学の基準(GPA,語学能力)に満たず、留学できない場合もある
- ・ **留学開始時期：2021/4/1～2021/12/31**
- ・ **留学期間：1学期～1年未満（派遣先大学の学事日程による）**
- ・ **募集要項：大学HP、各学部の教務/学生係 or 国際事業課（共通教育棟1号館5階）**
- ・ **留学中の貸与/給付奨学金(JASSO)**
 - & 鹿大から渡航費等支援金の可能性あり**
- ・ 「留学」→**鹿大に授業料納付**、協定校の授業料不要
（但し、附属語学学校の授業料は殆ど納付要）
- ・ **計画的単位取得で修業年限4年で卒業可能性も（文系）**

協定校への派遣留学（注意）

1) 米、豪、スペイン等大学応募者

各大学の設定した語学試験得点が必要

各大学応募時に英語(or 西語等)資格試験証明書提出

学内第一次書類選考で語学試験得点提出

*得点の詳細は別表参照

2) 2020年面接 12月中下旬（休日予定）

自己都合で面接できない場合は選考から外れる

3) 「トビタテ」、「進取の精神」支援基金への応募者で、協定校留学希望者

原則として「協定校派遣留学」の選考を経る必要がある

2. トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム

(28日-1年) **実践活動必須** 語学留学 (新興国コースのみ**O.K**)

「休学」

<http://www.tobitate.mext.go.jp/> ◁ 必要な情報は全てここに!

第14期 募集未定

「いつか飛び立つ日のために 今できること」_<https://tobitate.mext.go.jp/cheers/>

参考情報:

1) トビタQ <https://tobitate.mext.go.jp/tobitaq/> トビタテ生が留学体験を紹介

2) つながる海外留学コミュニティ **Canpath** <http://www.canpath.jp/>

<1期生・齊田さん>

<http://www.canpath.jp/users/291/timeline>



1-12期生
54人
トビタッタ!

3. 鹿大「進取の精神」支援基金 (長期派遣) (10週間~1年) 「休学」

<http://www.8360uf.sakura.ne.jp/shinshu/>

- ・ **2021年度募集: 2021年1-2月(予定)**

語学留学のみはだめ

- ・ 書類審査
- ・ 留学開始時期: **2021/4/1- 2022/3/31**
- ・ 留学目的: 将来鹿児島地域活性化に資する計画で教育上
有益な学修活動と認められるもの
- ・ 留学計画及び留学先機関: 自由
- ・ 募集要項: 大学HP、各学部の教務/学生係 or
国際事業課(共通教育棟1号館5階)
- ・ 給付奨学金: 所定の渡航費、月額奨学金、
大学・院の授業料(30万上限)



2016-2019
年度
31人支援!

4. 鹿児島県清華大学留学支援奨学金

(9月～1月(約5ヶ月間))

- 「留学」→**鹿大に授業料納付** (修業年限**4年**で卒業可)
- **2021年度募集: 2021年3月下旬-4月初旬(予定)**
- 書類審査
- 留学先: 清華大学人文学院
対外漢語教学センター
- 留学内容: 語学留学(中国語)
- 募集要項: 大学HP、各学部の教務/学生係 or
国際事業課(共通教育棟1号館5階)



2015-2019年度
22人採択!

5. UCL 稲盛留学生

(9月～8月(1年間))

- ・ **2021年度募集 2020年9-10月 予定**
- ・ 「留学」 → **鹿大に授業料納付 (最短修業年限で卒業可)**
- ・ 書類、面接審査 (学内審査を経て**UCL**の審査)
- ・ 留学先: 英国のUniversity College London
- ・ 対象: 修士課程及び博士課程の在学者、
または入学予定者
- ・ 留学内容: 年間1～2名を留学候補者として選抜し、UCLの入学許可を得たものを経済的に支援してUCLの正規学生と同等に授業を受講して単位を取得する。
- ・ 募集要項: 大学HP、各学部の教務/学生係 or
国際事業課(共通教育棟1号館5階)

6. パース市イマージョン英語プログラム (PUPILS)

(8月中旬～9月中旬(5週間))



2019年度
5人採択!

- **2021年度募集 2021年4-5月予定**
- 書類審査
- 支援：パース市が**AUD\$4110**を支援（2019年）
- 留学先：西オーストラリア大学UWA
- 留学内容：
 - UWAで100時間の英語学習
 - パース市民の家庭にホームステイ
 - パース市が企画する交流活動に参加etc.
- 募集要項：大学HP、
国際事業課(共通教育棟1号館5階)

4. 応募できるタイミング

応募できるタイミング

留年・休学について必ず指導教員・担任教員に相談しましょう！

2020年

2021年

2022年

7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5

トビタテ

第14期募集未定

これらの応募期間は2020年7/20現在の予定。変更の可能性あり

協定校

応募期間

準備期間
採択決定
選考

留学開始時期 2021 4/1-12/31

留学終了 2022 3/31-12/30

清華大

応募期間

選考採択決定

留学5ヶ月間
9月～1月

進取

期間
応募

選考採択決定

留学開始時期 2021 4/1-2022 3/31

留学終了 2022 3/31-2023 3/30

UCL

期間
応募

選考採択決定

留学1年 9月～8月

パース

期間
応募

選考採択決定

留学
5週間

5. 奨学金の種類、探し方

1. 奨学金の種類

タイプ：給付型/貸与型

- 大学を通じて応募するタイプ→給付型
(協定校派遣は貸与型も可能性有)
- 個人で申し込むタイプ→給付型/貸与型 自分で探す

2. 探し方

必見！ * 海外留学支援サイト <http://ryugaku.jasso.go.jp/>

* 海外留学奨学金検索サイト

<https://ryugaku-shogakukin.jasso.go.jp>

* 外国政府奨学金サイト

http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/scholarship_foreign/

6. 問合せ先、 鹿大の情報提供サイト

問合せ先： 国際事業課留学生係（共通教育1号館5階）
ryugaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

鹿大の留学関係情報提供サイト：

1. 大学HP 国際交流・留学

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/kokusai/kensyuu.html>

2. グローバルセンター学生海外派遣部門HP

- 先輩の体験談「伝えよう！鹿大生の海外体験」

<https://www.gic.kagoshima-u.ac.jp/sad/sad.html>

- 協定校情報（各大学HPにリンク）&
派遣留学生の体験情報（留学費用等留学計画に役立つ詳細情報）

<https://www.gic.kagoshima-u.ac.jp/sad/abroad.html>

コロナのせいで、準備しても行けなくなる可能性もある。先は誰も読めない

この状況で、やめるか、かけてみるかはあなた次第

ただ一つ言えるのは、
準備のための努力は無駄にはならない

英語、現地語
現地と日本についての知識
専門分野の知識

自分のために時間を裁量できる学生時代、
留学は見えなかったものが見えてくる貴重な体験

鹿児島大学

協定校派遣留学生募集要項 (案)

(2021年派遣)

鹿児島大学は、留学(受入れ及び派遣)を推進するため、129大学と授業料等を不徴収とする学術交流協定等(学生交流に関する覚書)を締結しています。(2020年5月現在)

これらの協定大学との間において留学生交流の一層の充実を図り、相互の教育・研究水準の向上に資するとともに、各国間の相互理解と友好親善を増進するために、下記により協定大学へ留学する学生を募集します。

※ただし新型コロナウイルス感染症により留学できない場合もあります。

記

1. 資格

本学に在籍し、次の資格全てを有する者(外国人留学生の場合は私費留学の正規生のみ可)

- (1) 学業成績が優秀で、人格等に優れている者
- (2) 留学の目的及び計画が明確で、派遣先大学への留学による効果が期待できる者
- (3) 派遣先大学での留学期間終了後、再び本学に戻り、学業を継続する者
- (4) 派遣先大学が指定する入学資格等を有する者又は相当の入学資格等を有する者
- (5) 指導教員等の推薦を得られる者

2. 留学開始時期と期間

原則として、2021年4月1日から2021年12月31日までに留学を開始します。原則として、期間は1学期以上1年未満。

3. 派遣先大学(交流協定校)及び年間上限人数(学生交流数)

別紙1のとおり。

4. 留学中の在籍身分

「留学」となり、この期間は修業年限に算入されます。

5. 経費

派遣先大学の検定料、入学料及び授業料等は納める必要はありません。その他の経費は自己負担となります。なお、鹿児島大学の授業料等は納めることになります。

6. 派遣先大学における授業科目の履修単位の取り扱い

各学部が定める規則により、本学における授業科目の履修により修得したものとみなされることがあります。単位認定については各学部で必要要件が異なりますので、各自で確認してください。

7. 申請方法

協定大学へ留学を希望する学生は、所属学部の学生(教務)担当係へ次に掲げる書類を提出してください。募集期間内に下記の書類を提出してください。なお募集期間は別途お知らせいたします。

- (1) 鹿児島大学協定校派遣留学申込書（別紙様式1）
- (2) 留学希望理由書（別紙様式2）
- (3) 担当教員、指導教員等による承諾書（別紙様式3-1）
- (4) 担任教員、指導教員等による推薦状（別紙様式3-2）
- (5) 本学の成績証明書
- (6) TOEFL、TOEIC、IELTS、実用英語技能検定(英検)、その他の言語の検定試験等の成績証明書の写し。

※(4)は記入した教員から、国際事業課留学生係へ送付すること。

※米・豪大学への申請者（第1希望～第3希望に米・豪大学を一つでも記載する場合）は、TOEFL、TOEIC、IELTS、実用英語技能検定（英検）のいずれかの証明書の提出を申請の要件とする。書類審査における採用の目安は、概ねTOEFL iBT35（Writing 17以上）以上、TOEIC570以上、IELTS5.0(Overall, Writing 5.0)以上、英検2級合格（2200以上）とする。なお、上記については今後変更の可能性もあるため、事前に各協定校の語学要件を調べ、満たすよう準備してください。

8. 選考

鹿児島大学国際交流委員会が設置する選考委員会で書類審査、面接の上、協定校派遣留学生を選出します。選考結果は協定校派遣留学生が所属する部局に報告します。また、応募した学生にもお知らせします。なお、選考日時は次のとおりです。

日時：未定（12月中下旬を予定）

※ZOOMによる開催を検討していますが、詳細は申請者に通知します。

9. 奨学金

協定校派遣留学生に選考された学生は、日本学生支援機構の海外留学支援制度の派遣留学生候補者として推薦されることがあります。ただし、推薦者が全て採用されるとは限りません。

10. 鹿児島大学学生海外留学支援

鹿児島大学では、本学の学生が学術交流協定を締結している海外の大学へ留学する際に経済的支援を行っています。ただし、推薦者が全て採用されるとは限りません。

11. 手続き

鹿児島大学協定校派遣留学生に選考された学生は、指導教員やグローバルセンター教員、国際事業課スタッフ等と相談しながら派遣先大学に入学するための必要書類を準備することになります。また、国際事業課へ提出する書類（「鹿児島大学協定校派遣留学制度による誓約書」（別紙様式4）および加入した海外旅行保険証書のコピー等）、所属する学部等へ提出する書類（留学願等）もあります。具体的な手続きは各協定校派遣留学生へ後日、ご連絡します。

なお、日本学生支援機構による海外留学支援制度（協定派遣）の派遣留学生として採用が決定した学生は、上記の手続きの他に揃える書類があります。詳しくは後日、該当する派遣留学生へお知らせします。※協定校派遣留学生に選考された学生は、原則として大学が指定する海外旅行保険に加入いただきます。

12. 報告書等の提出

派遣先大学での留学が終了した学生は、帰国後1ヶ月以内に速やかに派遣留学に関する報告書（別紙様式5）と派遣先大学での成績証明書を国際事業課へ提出してください。

13. 事前・事後学習

派遣留学生は、原則として事前学習「派遣留学Ⅰ」、「留学生のための異文化理解」、事後学習「派遣留学Ⅱ」（共通教育科目）を履修し、帰国後に留学報告発表を行うこととします。

14. 留学の相談等

下記URLの留学相談フォームより相談事項をお送りください。

<https://www.gic.kagoshima-u.ac.jp/forkadaistudent/consultation/>

【本件担当】 学生部 国際事業課 留学生係 TEL 099-285-3015 ryugaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

鹿兒島大学協定校派遣留学申込書(2021年度派遣)案

鹿兒島大学長 殿

年 月 日

留学希望大学	第 1 希 望	第 2 希 望	第 3 希 望
希望学部・専攻等			
希望留学期間 (※各自、本学の学期ではなく、留学希望大学のHP等で、学期の開講期間等を確認して記載すること)	年 月 ~ 年 月 (1年未満)		
日本学生支援機構「海外留学支援制度(協定派遣)奨学金」【給付型】の申請を;	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない		※給付型の奨学金が採択された場合、成績係数と家計基準を満たしていれば、原則として受給対象となります。
上記の奨学金の受給が;	<input type="checkbox"/> 奨学金が無い場合も留学を希望する		<input type="checkbox"/> 奨学金が無い場合は留学を希望しない
フリガナ 申込者氏名	印		性別: <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
生年月日	(西暦) 年 月 日 (2020年9月1日現在 歳)		
所属	学 部 研究科	学 科 専攻	(年 年度入学)
現住所	〒	TEL	携帯
E-mailアドレス (必ず記入のこと)	PC:	携帯:	
語学能力*2	外国語の種類	テスト名	評価 受験年月
留学先言語による会話能力自己評価 ←低 高→ (○で囲んでください。 1 2 3 4 5 経験なしの場合は□に チェックしてください。)	日常会話:	1 2 3 4 5	討 論: 1 2 3 4 5
	スピーチ:	1 2 3 4 5	経験なし: <input type="checkbox"/>
保護者の同意	上記留学について同意します。		
	保護者署名	印	申込者との続柄
	〒	TEL	

* 語学能力を証明する書類を添付すること

※本申込書作成上の注意:署名および押印部分以外はフォントサイズ10.5でタイプすること。自筆不可。

申請書類等(別紙様式1~4)に記載された内容及び提出書類はプライバシー保護のため、個人情報として扱われます。
なお、これらの書類は、書類審査・選考以外の用途には用いられません。

鹿児島大学学術交流協定校への留学希望理由書

ふりがな			性別	
氏名	印			
生年月日			応募時 年齢	
学籍番号		所属/学年	学部	研究科/年
指導/担任教員	所属		氏名	
留学先大学		国・地域		
留学期間(派遣先大学の学期開始に合わせた期間)			年	月 ~ 年 月

留学の動機と目的および留学先大学を選んだ理由 (なぜ留学しようと思 い、何のために留学 するのか。なぜその 大学に留学したい か)	
留学目的の達成をど のように検証、測定 するか	
派遣先大学でどのよ うな授業を履修した いか 特に専門的に学びた いことは何か、授業 以外で取り組んでみ たいことは何か	

留学成果を将来どう活かすか			
今回の留学でどのような人的つながりを得ようと思うか、それを今後どのように活かすか			
困難を克服した経験			
自分をアピールできる点			
語学能力	テストの結果等 (資格試験取得年月)	テストの結果等 (資格試験取得年月)	その他
	(取得: 年 月)	(取得: 年 月)	

※留学希望理由書作成上の注意: A4 2枚以内(様式の各欄所定の枠を動かしても構いません)、フォントサイズ10.5でタイプすること。自筆不可。

申請書類等(別紙様式1~4)に記載された内容及び提出書類はプライバシー保護のため、個人情報として扱われます。なお、これらの書類は、書類審査・選考以外の用途には用いられません。

鹿児島大学協定校派遣留学にかかる承認書

鹿児島大学長 殿

担任教員等

職名・氏名

印

下記の者が2021年度鹿児島大学協定校派遣留学に応募することを承認します。なお、承認にあたっては、申請者本人による留学希望理由書及び希望留学期間を確認し、了承したことを申し添えます。

派遣留学 申請者氏名	生年月日	(西暦) 年 月 日		
	性別	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女	
所属	学部	学科	年	
	研究科	専攻	(年度入学)	
派遣先大学	第1希望	第2希望	第3希望	
本学生に対する 所見				
渡航時期 留学期間	年 月 ~ 年 月 (※本学の学期ではなく、留学希望大学のHP等で、学期の開講期間等を確認して記載すること)			

申請書類等(別紙様式1~4)に記載された内容及び提出書類はプライバシー保護のため、個人情報として扱われます。なお、これらの書類は、書類審査・選考以外の用途には用いられません。

本推薦状(別紙様式3-2)は、押印のうえ国際事業課留学生係(ryugaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp)に送付ください。
送付方法: 学内便あるいはファイル添付の上メール

推薦状

鹿児島大学長 殿

教員職名

氏名

印

申請書類等(別紙様式1~4)に記載された内容及び提出書類はプライバシー保護のため、個人情報として扱われます。なお、これらの書類は、書類審査・選考以外の用途には用いられません。

鹿児島大学協定校派遣留学制度による誓約書

年 月 日

鹿児島大学長 殿

私（ ）は、鹿児島大学交換留学制度による（ ）大学への留学にあたり、鹿児島大学生としての自覚と責任感を持って行動し、勉学に精励するとともに、次の各事項について確認し、実行することをここに誓約します。

1. 留学先国の法令及び留学先大学の規則等を遵守します。
2. 留学出発前に、原則として事前学習「派遣留学Ⅰ」、「留学生のための異文化理解」を履修します。
3. パスポートやビザの取得、所属学部における留学手続き、留学費用（渡航費、滞在費）の支払い等、留学に必要な諸手続は、自らの責任において遺漏なく行います。
4. 留学出発前から留学終了後まで国際事業課との連絡を密に行います。特に留学中は、病気などやむを得ない理由による期間変更などが必要な場合は、必ず事前に保証人及び国際事業課に相談します。
5. 留学先及びその近隣地域において天災、災害、テロなど不測の事態が生じた場合は、必ず直接または保証人を通じて国際事業課に安否を連絡します。
6. 留学先の治安や感染症状況等に問題がある場合や個人的問題が生じた場合で、鹿児島大学が留学の延期、中止、帰国を決定した場合はこれに従います。
7. 留学に伴う在籍期間の延長（留年）等についても、所属学部指導教員及び学生係と相談の上、事前に把握済みであり、保証人もこれを同意しています。
8. 留学期間は最長1年間で、1年を超える延長は認められないこと、また、やむを得ない理由があると認められた場合を除き留学期間の短縮・延長は原則できないことを理解し、留学終了後（終了日は派遣先大学で履修する科目の最終講義日又は最終試験日）1ヶ月以内に必ず帰国して、鹿児島大学に引き続き在籍します。
9. 前項にもかかわらず留学の継続が困難になった場合は、速やかに「留学中止願」を提出し、鹿児島大学の承認を得るものとします。その場合の留学終了日は、鹿児島大学が中止願を承認した日（派遣先国を出国した日が承認日より前であった場合は、出国日）となることを了承します。
10. 留学の中止により支給済の奨学金等の返還要請があった場合には速やかに応じます。
11. 留学出発前に大学の指定する海外旅行傷害保険に加入し、出発後に「在留届電子届出システム（ORRnet）」サイトから在外公館に在留届を提出します。
12. 留学の参加にあたっては、健康、安全には十分留意し、滞在国にて発症、怪我をした場合には、前項の保険をもって補償を担保し、鹿児島大学には一切その補償を請求しません。
13. 留学中は、協定校所在地に滞在するものとし、協定校所在国を離れる場合には、必ず事前に国際事業課に連絡のうえ「たびレジ」に登録します。また協定校のプログラム以外の事由で協定校所在国を離れる場合には、個人の資格での活動であるとみなして、それによるいかなる損失、支障が生じた場合においても、鹿児島大学にその補償を請求しません。
14. 留学中は毎月1度留学状況を報告するとともに、留学後は所属学部で留学中の取得単位の認定手続を行うとともに、提出期限内に所定の報告書等を国際事業課宛提出します。
15. 帰国後は、原則として事後学習「派遣留学Ⅱ」を履修し、留学報告発表を行います。また、派遣留学説明会、オリエンテーション、次年度留学者へのアドバイスなどに積極的に協力します。

【派遣留学予定者】

氏名（署名）： _____ 留学先大学： _____
留学予定期間： _____ 年 月 日 ~ _____ 年 月 日
所属学部： _____ 学籍番号： _____

上記派遣留学予定者が、誓約の上留学することを保証します。

【保証人】

氏名（署名）： _____ 印
住所： 〒 _____
電話番号： _____
続柄（関係）： _____

記入された保証人等の個人情報、交換留学プログラム実施のために利用し、それ以外の目的では利用しません。

協定校派遣留学報告書

※本報告書は鹿児島大学学生海外留学支援事業による支援金受給者の留学報告書を兼ねる

ふりがな				性別	
氏名	印				
生年月日				応募時 年齢	
学籍番号		所属/学年	学部 研究科/ 年		
指導/担任教員	所属		氏名		
留学先大学		国・地域			
留学期間(入学許可書に記載してある受入期間)			年	月	～ 年 月

この留学で得た成果は何か、それを将来の自分にどう活かすか(学修、生活体験、その他)	
最も心に残ったエピソード	
留学希望理由書に記した留学目的の達成状況	

留学目的の達成をどのように検証、測定した／するか			
派遣先大学でどのような授業を履修したか(各科目の単位数も記入)／専門的に学びたいことが学べたか			
留学先の国、地域について学んだこと			
今回の留学でどのような人的つながりを得たか、今後どのように活かすか			
その他			
語学能力の伸び	テストの結果等 (留学前)	テストの結果等 (留学前)	その他(伸びの実感等)
	(取得: 年 月)	(取得: 年 月)	

報告書作成上の注意

1. 本報告書の使用目的
本学に留学について報告するとともに、大学のホームページや報告書等で公開する可能性があります。
2. 分量など
A4 2～3枚以内(所定の枠を抜けても構いません)。フォントサイズ10.5。

協定校への応募要件(英語圏)

2020.07.01現在

NO	協定校名	協定的人数枠	派遣可能期間	学部・学科及び研究科等	「協定校への応募時」の語学能力要件 IELTS:Academic Module TOEFL:TOEFL iBT ※先方への申請時に必須です。			備考
					TOEFL	IELTS	(補足)	
1	サンノゼ州立大学	3	1学期以上1年未満	Undergraduate, except Engineering	TOEFL	iBT61, PBT500		
					IELTS	6.0		
				All Engineering major	TOEFL	iBT80, PBT500		
					IELTS	-		
2	ジョージア大学	相手校との バランスに 基づく	1学期以上1年未満	-	TOEFL	iBT80	Writing20, Speaking20 以上	
					IELTS	6.5	各項目6.0以上	
			1学期以上1年未満	【語学学校】 Intensive English Program ("IEP")	TOEFL	PBT500(8週間コース),450(16週間 コース)		
					IELTS	-		
3	ハワイ大学(マノア校)	1	1学期以上1年未満	-	TOEFL	iBT100, PBT600		GPAは2.5/4.0以上
				IELTS	7.0			
			1学期以上1年未満	English Language Institute("ELI")	TOEFL	iBT68, PBT520		ELIのコース数によっては、正規のコースを併行して受講可能
					IELTS	6.0		
4	シドニー工科大学	3	1学期以上1年未満	Most programs	TOEFL	iBT79-93, PBT550-583	iBTの場合writing 21以上 PBTの場合TWE4.5以上	
					IELTS	6.5	writing 6.0以上	
			1学期以上1年未満	All Teacher Education, Pharmacy	TOEFL	iBT94-101, PBT584-609	iBTの場合writing 23以上 PBTの場合TWE5.0以上	
					IELTS	7.0	writing 7.0以上	
			1学期以上1年未満	Engineering & It undergraduate programs	TOEFL	iBT60-78, PBT500-549	iBTの場合writing 21以上 PBTの場合TWE4.5以上	
					IELTS	6.0	writing 6.0以上	
			1学期以上1年未満	Australian Language and Culture Studies	TOEFL	iBT35以上, PBT417以上	iBTの場合writing 17以上	
					IELTS	5.0	writing 5.0以上	
5	ニューイングランド大 学	3	1学期以上1年未満	-	TOEFL	iBT79, PBT550		
					IELTS	6.0	各項目5.5以上	
			1学期以上1年未満	English for Academic Purposes (EAP)	TOEFL	-	-	
					IELTS	4.5 (EAP Module 1), 5.0 (EAP Module 2), 5.5 (EAP Module 3), 6.0 (EAP Module 4), 6.5 (EAP Module 5),	各項目4.0以上 (EAP Module 1), 各項目4.5以上 (EAP Module 2), 各項目5.0以上 (EAP Module 3), 各項目5.5以上 (EAP Module 4), 各項目6.0以上 (EAP Module 5),	

【米・豪大学への申請者に向けた2019 年度書類審査での目安】
TOEIC : 570
TOEFL iBT : 35

協定校への応募要件(英語圏以外)

2020.07.01現在

NO	協定校名	協定の人数枠	派遣可能期間	学部・学科及び研究科等	「協定校への応募時」の語学力要件 IELTS:Academic Module TOEFL:TOEFL iBT ※先方への申請時に必須です。	協定校が求める CEFRレベル	備考
1	釜慶大学校	3	1学期以上1年未満	全学部・研究科受講可	少なくとも留学前に韓国語を学んでいることが望ましい	-	
2	全北大学校	3	1学期以上1年未満	Veterinary medicine, Medical college, College of Lawを除く学部	英語又は韓国語の授業が受講できる程度の語学力	-	
3	群山大学校	3	1学期以上1年未満	全学部・研究科受講可	講義は韓国語で行われるためTOPIK 3級を推奨	-	
4	済州大学校	3	1学期以上1年未満	全学部・研究科受講可	少なくとも留学前に韓国語を学んでいることが望ましい	-	GPA 2.4/4.3以上 あるいは 80%以上
5	江陵原州大学校	3	1学期以上1年未満	全学部・研究科受講可	英語又は韓国語の授業が受講できる程度の語学力	-	
6	江原大学校	3	1学期以上1年未満	Department of Veterinary Medicine, Department of Medicine, Department of Nursing, College of Lawを除く学部	英語又は韓国語の授業が受講できる程度の語学力	-	GPAは2.6/4.0以上
7	祥明大学校	3	1学期以上1年未満	全学部・研究科受講可	(韓国語) TOPIK (英語) TOEFL, IELTS, TEPS 韓国語あるいは英語で記載された、上記のスコア証明書があれば提出すること。	-	
8	忠北大学校	3	1学期以上1年未満	全学部・研究科受講可	英語または韓国語で流暢に話すことができる *ただし、Dept. of Korean Language and Literatureに申請する際は TOPIK 5級以上を取得していること	-	
9	韓国外国語大学校	3	1学期以上1年未満	(英語で講義を受ける場合) 全学部・研究科受講可 (韓国語で講義を受ける場合) 全学部・研究科受講可	TOEFL iBT 80以上, ITP 550以上 IELTS 6.0(各項目6.0以上) TOEIC 750以上 あるいは上記と同等の能力を示す証明書を提出すること。 TOPIK 3級以上, KLAT 150(B2レベル)以上	B2 -	*Intensive Korean Languageのみ受講する場合は語学証明書は不要 Intensive Korean Languageのみ受講する場合は語学証明書は不要
10	インドネシア大学	3	1学期以上1年未満	学期により異なる	TOEFL ITP: PBT 550; iBT 80 IELTS: 6.5	B2	GPAは3.0/4.0以上
11	ボゴール農科大学	3	1学期以上1年未満	全学部・研究科受講可	TOEFL, IELTSのスコア証明書を提出すること。	-	
12	ディボネゴロ大学	2	1学期以上1年未満	English Literature, International Relation, Anthropology, Civil Engineering, Biology, International Law,	TOEIC 600 Paper TOEFL 500, CBT TOEFL 180, IBT TOEFL 65 IELTS 5.5 ※インドネシア語を話すことが出来る場合はB2-C1 レベルを取得していること。	B1~B2	
13	スリウィジャヤ大学	3	1学期以上1年未満	Faculty of Engineering Faculty of Mathematics and Natural Science Faculty of Computer Science Faculty of Law Faculty of Economics Faculty of Social Science and Political Science Faculty of Teacher Training and Education Faculty of Agriculture Faculty of Medicine Faculty of Public Health	英語でのコミュニケーションが可能であること。	-	GPAは3.0/4.0以上
14	マレーシアブトラ大学	2	1学期以上1年未満	全学部・研究科受講可	英語能力を示す証明書 ※TOEFL, IELTS 等、英語で記載された証明書が用意できない場合は、教員による証明書も可。	-	
15	カセサート大学	2	1学期以上1年未満	学期により異なる	英語能力を示す証明書 ※TOEFL, IELTS 等、英語で記載された証明書が用意できない場合は、教員による証明書も可。	-	GPAは2.0/4.0以上
16	フィリピン大学	-	1学期以上1年未満	全学部・研究科受講可	英語能力を示す証明書 ※TOEFL, IELTS 等、英語で記載された証明書が用意できない場合は、教員による証明書も可。	-	GPAは3.0/4.0以上

17	ベトナム国家農業大学	3	1学期以上1年未満	(Courses in English)以下の4つ Advanced education program on Crop Science (in cooperation with University of California, Davis – the USA) Advanced education program on Agri-business management (in cooperation with University of Wisconsin Madison – the USA) Biotechnology Agricultural economics	TOEFL PBT500 あるいは上記と同じ程度のTOEFL iBT61, IELTS4.5, TOEIC600のスコア証明書を提出すること。	B1	GPAは2.5/4.0以上 (67%以上)
18	リンシェーピン大学	2	1学期以上1年未満	Faculty of Arts and Sciences	(英語) TOEFL iBT60 IELTS 6.0 ※上記を含むB2レベル以上のスコア証明書の提出あるいは、本学で上記レベルと同等のクラスを受講している等を示す教員推薦書を提出すること。	B2	GPAは3.0/4.0以上
19	バレンシア工芸大学	2	1学期以上1年未満	Faculty of Business Administration and Management School of Computer Engineering Faculty of Fine Arts School of Agricultural Engineering and Environment School of Architecture School of Building Management School of Civil Engineering School of Design Engineering School of Engineering in Geodesy, Cartography and Surveying School of Industrial Engineering School of Telecommunications Engineering Higher Polytechnic School of Gandia (Gandia Campus) Higher Polytechnic School of Alcoy (Alcoy Campus)	(スペイン語)B1レベル以上の能力を示す証明書 もしくは (英語)B2レベル以上の英語能力を示す証明書	スペイン語 B1 英語 B2	GPAは2.5/4.0以上 (67%以上)
20	スロバキア農業大学	3	1学期以上1年未満	学期により異なる	(英語)B2レベル以上の英語能力を示す証明書 ※TOEFL, IELTS 等、英語で記載された証明書が用意できない場合は、教員による証明書も可	B2	
21	カール・フォン・オシエツキー大学オルデンブルグ	3	1学期以上1年未満	全学部・研究科受講可	ドイツ語での講義を受講希望する者: (ドイツ語) B1レベル以上 英語語での講義を受講希望する者: (英語) TOEIC 550 TOEFL iBT 42 IELTS: 4.0 ※上記について英語で記載された証明書が用意できない場合は、教員による証明書も可	ドイツ語 B1 英語 B1	
22	ロッテンブルグ林業大学	2	1学期以上1年未満	全学部・研究科受講可	(ドイツ語) B1レベル以上 ※正規の学部は全講義ドイツ語で開講。ドイツ語初学者あるいはB1レベル以下の者は6ヶ月のドイツ語コースを受講すること。	B1	
23	レンヌ第2オート・ブルターニュ大学	3	1学期以上1年未満	全学部・研究科受講可	(フランス語) B2レベル以上 ※B1以下の場合には+French proficiency evening coursesを受講すること。	B2	
24	ボルドー・モンテーニュ大学	3	1学期以上1年未満	全学部・研究科受講可	(フランス語) Bachelor degree. B2レベル Master degree C1レベル	B2	
				DEFLE French as a Foreign Language	-	-	
25	アンカラ大学	3	1学期以上1年未満	全学部・研究科受講可	語学要件はないが、トルコ語・英語での意思疎通ができることを期待する。	-	
26	アマゾナス連邦大学	3	1学期以上1年未満	全学部・研究科受講可	ポルトガル語中級であることが望ましい。	-	

国名	締結機関名	学生交流 年間上限数	締結年月日	
中国	湘潭大学	3	1986年12月11日	
	雲南農業大学	3	1989年5月11日	
	湖南農業大学	3	1989年6月2日	
	中南大学	3	1993年6月15日	
	中国医科大学	3	1993年9月13日	
	湖南大学	3	1995年8月23日	
	南京工業大学	3	1999年9月14日	
	東北師範大学	2	2001年11月13日	
	東北大学	2	2004年12月3日	
	重慶大学	2	2006年5月22日	
	山東師範大学	3	2009年12月24日	
	上海海洋大学	3	2011年10月24日	
	首都経済貿易大学	2	2013年3月1日	
	華東政法大学	2	2013年10月10日	
	大連海事大学	3	2015年7月27日	
	四川大學錦江学院	3	2011年12月16日	
	韓国	釜慶大学校	3	1995年7月6日
全北大学校		3	1997年4月22日	
群山大学校		3	1997年12月1日	
済州大学校		3	1998年1月30日	
江陵原州大学校		3	2001年2月8日	
江原大学校		3	2002年4月5日	
公州大学校		3	2004年10月18日	
木浦大学校		3	2010年5月28日	
祥明大学校		3	2013年5月13日	
忠北大学校		3	2016年8月18日	
韓国外国語大学校		3	2013年1月22日	
インド	カルナタカ国立工科大学	*	2	2005年3月23日
	アンダラス大学	*	2	2003年12月1日
インドネシア	インドネシア大学	*	3	2009年12月9日
	ボゴール農科大学	*	3	2010年6月4日
	ディボネゴロ大学	*	2	2008年6月30日
	バンドン工科大学	*	2	2010年11月22日
	サムラトランギ大学	*	3	2011年2月8日
	パティムラ大学	*	3	2014年3月25日
	スリウィジャヤ大学	*	3	2015年11月2日
	アイルランガ大学	*	2	2012年11月19日
	ダッカ大学	**	3	2013年12月24日
バングラデシュ	バングラデシュ農業大学	**	3	2014年12月27日
	マレーシアアトレンガヌ大学		2	2005年4月22日
マレーシア	マレーシアサバ大学	**	有	2009年3月4日
	マレーシアアトラ大学		2	2010年3月16日
	マレーシア国際イスラム大学		有	2013年10月29日
	淡江大学		2	2005年11月5日
台湾	国立高雄科技大学		3	2008年2月29日
	国立中興大学		2	2009年4月1日
	国立高雄大学		3	2016年4月7日
	国立成功大学		3	2005年12月23日
	国立台湾海洋大学		3	2010年7月15日
タイ	メジョー大学		3	2001年4月30日
	国立モンクット王トンブリ工科大学	*	2	2002年1月16日
	カセサート大学	*	2	2005年12月19日
	スラナリ工科大学		2	2009年4月17日
	モンクット王工科大学ラカバン校	*	3	2016年4月1日
フィリピン	フィリピン大学	*	有	2007年12月12日
	フィリピンポリテクニク大学	*	2	2017年4月1日
ベトナム	ベトナム国家農業大学		3	2002年3月6日
	ハノイ貿易大学		2	2002年12月25日
	ニャチャン大学		3	2015年7月31日
	カントー大学		3	2009年5月25日
南太平洋12カ国・地域	南太平洋大学	*	3	1982年7月21日
パプアニューギニア	パプアニューギニア大学	*	3	1987年5月29日
オーストラリア	ニューイングランド大学		3	1995年7月20日
	シドニー工科大学		3	2000年3月1日
アメリカ合衆国	ジョージア大学	有	1979年11月29日	
	サンノゼ州立大学		3	2012年4月23日
	ノースダコタ州立大学		3	2014年1月15日
	ハワイ大学マノア校		1	2018年8月8日
スウェーデン	リンシェーピング大学		2	2010年6月11日
スペイン	バレンシア工芸大学		2	2000年2月7日
スロバキア	スロバキア農業大学		3	2015年5月1日
ドイツ	カール・フォン・オシエツキー大学オルデンブルク		3	2015年7月27日
	ロッテンブルク林業大学		2	2013年11月5日
フランス	レンヌ第2オート・ブルターニュ大学		3	2010年7月1日
	ボルドー・モンテーニュ大学		3	2017年1月26日
トルコ	アンカラ大学		3	2012年12月10日
	サンカルロス連邦大学		3	2011年8月19日
ブラジル	アマゾナス連邦大学	*	3	2016年4月28日
	カフルアッシュャイフ大学	**	2	2011年9月5日
エジプト	ベンハ大学	*	2	2018年8月7日
	ザンビア大学	*	2	2019年8月22日

本学では①外務省渡航危険情報レベルおよび②感染症情報レベルが「レベル2」以上の地域への留学は原則認めていません。

①渡航危険情報レベルについては、表中のとおりです。

(*・・・外務省により渡航危険情報レベル1の発出されている地域にある大学、**・・・外務省により渡航危険情報レベル2以上の発出されている地域にある大学)

②感染症情報レベルについては、2020年7月20日現在、全世界の国・地域が感染症情報レベル2以上になっています。

国・地域	締結機関名	学生交流 年間上限数	締結年月日
法文学部			
ドイツ	ミュンヘン大学東アジア研究部日本センター	2	2003年10月29日
フランス	欧亜高等管理学院 ブルターニュ・アトランティック・ビジネススクール	2	2019年4月19日
中国	内蒙古師範大学外国語学院	3	2017年6月19日
	長江大学外国語学院	2	2019年6月28日
法文学部・人文社会科学研究科			
韓国	釜山大学校社会科学大学	3	2007年3月8日
中国	内蒙古大学民族学与社会学学院	3	2016年11月1日
	上海海事大学外国語学院	3	2018年7月1日
	海南大学外国語学院	2	2019年7月19日
台湾	国立暨南国際大学人文学院	2	2017年4月18日
タンザニア	セントオーガスティン大学タンザニア	2	2018年12月16日
教育学部			
台湾	国立台北教育大学	2	2012年4月1日
ドイツ	ボン大学哲学部	2	2006年9月26日
歯学部			
韓国	慶熙大学校歯学部	3	2019年11月28日
台湾	国立陽明大学歯学部	3	2017年8月12日
	高雄医学大学歯学部	3	2017年8月7日
タイ	プリンスオブソークラー大学歯学部	**	2018年7月4日
マレーシア	マラヤ大学歯学部	3	2020年2月19日
工学部			
タイ	チュラロンコン大学石油及び石油化学研究科	*	2000年7月28日
農学部			
タンザニア	セントオーガスティン大学タンザニア	3	2018年4月19日
タイ	メーファンラン大学農産業学部	3	2016年11月14日
台湾	中国文化大学農学院	2	2012年10月3日
中国	華中農業大学	3	2018年5月22日
マラウイ	リロングウェ農業天然資源大学	*	2016年8月23日
	マラウイ科学技術大学	*	2019年3月25日
ミャンマー	パテイン大学	*	2016年12月4日
メキシコ	ヌエボレオン自治大学	2	2019年1月22日
水産学部			
中国	大連海洋大学	2	2003年10月21日
	浙江海洋学院	2	2011年4月5日
	華中農業大学水産学院	3	2018年7月27日
台湾	国立嘉義大学生命科学院	5	2016年11月28日
ベトナム	カントー大学水産・養殖学部	2	2009年5月25日
スペイン	アリカンテ大学	2	2012年3月28日
ノルウェー	トロムソ大学生物水産経済学部	3	2019年6月25日
トルコ	チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学	3	2017年12月21日
コロンビア	マダレナ大学	3	2020年2月12日
ブラジル	アマゾニア連邦農業大学	3	2019年2月28日
共同獣医学部			
バングラデシュ	チッタゴン獣医動物科学大学	*	2013年6月23日
	シェレバングラ農科大学動物科学・獣医学部	**	2019年10月31日
ドイツ	ベルリン自由大学	2	2018年7月6日
フランス	ヴェットアグロ スーブ (フランス獣医学農学高等教育学校)	3	2015年8月25日
ポルトガル	トラス モンテス アルトデウオ大学獣医学部	2	2019年2月13日
ベトナム	タイグエン農林大学動物科学・獣医学部	2	2018年10月3日
理工学研究科			
台湾	国立台湾大学理学部	3	2019年1月19日
フランス	ピエール&マリー・キュリー大学(パリ第6大学)	3	2017年3月31日
イタリア	フィレンツェ大学建築学科	3	2016年10月13日
スイス	西スイス応用科学技術大学	3	2017年7月4日
医歯学総合研究科			
中国	徐州医科大学	3	2018年5月11日
ネパール	ネパールガンジ医科大学	**	2016年7月31日

本学では①外務省渡航危険情報レベルおよび②感染症情報レベルが「レベル2」以上の地域への留学は原則認めていません。

①渡航危険情報レベルについては、表中のとおりです。

(*・・・外務省により渡航危険情報レベル1の発出されている地域にある大学、**・・・外務省により渡航危険情報レベル2以上の発出されている地域にある大学)

②感染症情報レベルについては、2020年7月20日現在、全世界の国・地域が感染症情報レベル2以上になっています。

出発年度	番号	渡航国	渡航先機関	渡航期間	全学間／部局間	所属部局	所属学科等	在籍学年 (渡航時)	性別
2015年度	1	インドネシア	ボゴール農科大学	2015/9-2016/6	全学間	農	生物生産学科	2	女
	2	タイ	カセサート大学	2015/8-2016/3	全学間	法文	経済情報学科	4	男
	3	オーストラリア	ニューイングランド大学	2015/10-2016/9	全学間	法文	人文学科	2	女
	4	オーストラリア	シドニー工科大学	2015/7-2016/7	全学間	理工研	建築学専攻	4	男
	5	アメリカ合衆国	ジョージア大学	2015/10-2016/5	全学間	農学研	生物環境学専攻	1	女
	6	アメリカ合衆国	ジョージア大学	2015/8-2016/4	全学間	理	地球環境学科	2	男
	7	アメリカ合衆国	ノースダコタ州立大学	2015/8-2016/5	全学間	法文	経済情報学科	4	女
	8	スペイン	バレンシア工芸大学	2015/9-2016/6	全学間	法文	人文学科	3	女
	9	スウェーデン	リンシェーピン大学	2016/1-2016/6	全学間	教育	学校教育教員養成課程(英語)	3	女
	10	スウェーデン	リンシェーピン大学	2015/8-2016/6	全学間	法文	法政策学科	3	女
	11	スウェーデン	リンシェーピン大学	2015/8-2015/12	全学間	法文	法政策学科	3	女
	12	フランス	レヌ第2-オート・ブルターニュ大学	2015/9-2016/5	部局間	法文	人文学科	3	男
	13	フランス	レヌ第2-オート・ブルターニュ大学	2015/9-2016/5	部局間	法文	人文学科	3	女
	14	ドイツ	ボン大学	2015/9-2016/7	部局間	教育	学校教育教員養成課程(音楽)	4	女
	15	韓国	韓国外国語大学校日本語大学	2016/2-2017/2	部局間	教育	生涯教育総合課程(国際理解)	3	女
	16	台湾	淡江大学	2016/3-2017/1	全学間	教育	生涯教育総合課程(国際理解教育)	3	女
	17	韓国	祥明大学校	2016/2-2017/2	全学間	教育	学校教育教員養成課程(美術)	3	女
	18	韓国	釜山大学校	2016/2-2017/2	部局間	法文	人文学科	2	女
	19	ドイツ	ボン大学	2016/2-2017/2	部局間	教育	学校教育教員養成課程(社会)	4	男
	20	韓国	釜山大学校	2016/2-2016/8	部局間	法文	経済情報学科	3	女
2016年度	1	アメリカ合衆国	ジョージア大学	2016/8-2017/5	全学間	理	地球環境学科	3	女
	2	アメリカ合衆国	ジョージア大学	2016/8-2017/5	全学間	法文	人文学科	3	女
	3	スペイン	バレンシア工芸大学	2016/9-2017/6	全学間	理工研	建築学専攻	2	女
	4	スウェーデン	リンシェーピン大学	2016/8-2017/6	全学間	法文	人文学科	3	女
	5	スウェーデン	リンシェーピン大学	2016/8-2017/6	全学間	法文	人文学科	2	女
	6	オーストラリア	シドニー工科大学	2016/7-2017/7	全学間	法文	人文学科	2	女
	7	オーストラリア	シドニー工科大学	2016/7-2017/7	全学間	教育	学校教育教員養成課程(英語)	4	女
	8	スウェーデン	リンシェーピン大学	2016/8-2017/6	全学間	農	生物環境学科	3	女
	9	インドネシア	スリウィジャヤ大学	2016/8-2017/8	全学間	農学研	生物生産学専攻	1	女
	10	スロバキア	スロバキア農業大学	2016/9-2017/1	全学間	農学研	生物資源化学専攻	1	女
	11	スロバキア	スロバキア農業大学	2016/9-2017/1	全学間	人文研	経済社会システム専攻	2	女
	12	インドネシア	ボゴール農科大学	2016/8-2017/1	全学間	農	生物環境学科	3	女
	13	スペイン	バレンシア工芸大学	2016/9-2017/6	全学間	理工研	建築学科	4	女
	14	フランス	レヌ第2-オート・ブルターニュ大学	2016/9-2017/5	全学間	法文	人文学科	4	女
	15	フランス	レヌ第2-オート・ブルターニュ大学	2016/9-2017/5	全学間	法文	人文学科	3	女
	16	ドイツ	ボン大学	2016/4-2017/2	部局間	教育	学校教育教員養成課程(音楽)	2	女
	17	インドネシア	ボゴール農科大学	2016/8-2017/1	全学間	農学研	生物生産学専攻	1	女
	18	韓国	江陵原州大学校	2017/3-2017/12	全学間	教育	学校教育教員養成課程(理科)	3	女
	19	韓国	釜山大学校	2017/3-2017/6	部局間	法文	人文学科	2	女
	20	韓国	釜山大学校	2017/3-2017/12	部局間	法文	人文学科	2	女
	21	韓国	釜山大学校	2017/3-2017/12	部局間	法文	人文学科	2	女
	22	ドイツ	ミュンヘン大学	2017/3-2018/2	部局間	法文	人文学科	4	女
	23	ドイツ	ミュンヘン大学	2017/3-2018/2	部局間	法文	法政策学科	3	男
2017年度	1	オーストラリア	ニューイングランド大学	2017/7-2018/6	全学間	法文	人文学科	2	女
	2	アメリカ合衆国	ジョージア大学	2017/8-2018/5	全学間	教育	学校教育教員養成課程(社会)	4	男
	3	オーストラリア	シドニー工科大学	2017/7-2018/6	全学間	教育	学校教育教員養成課程(教育学)	4	男
	4	オーストラリア	シドニー工科大学	2017/7-2018/6	全学間	理工研	建築学専攻	2	女
	5	タイ	カセサート大学	2017/8-2017/12	全学間	法文	経済情報学科	3	女
	6	インドネシア	スリウィジャヤ大学	2017/7-2018/2	全学間	農学研	生物生産学専攻	1	男
	7	アメリカ合衆国	ジョージア大学	2017/8-2018/5	全学間	法文	経済情報学科	2	女
	8	スウェーデン	リンシェーピン大学	2017/8-2018/6	全学間	法文	人文学科	4	女
	9	アメリカ合衆国	サンノゼ州立大学	2017/8-2018/5	全学間	法文	経済情報学科	3	男
	10	スペイン	バレンシア工芸大学	2017/9-2018/1	全学間	法文	人文学科	4	女
	11	ドイツ	オルデンブルク大学	2017/9-2018/6	全学間	教育	学校教育教員養成課程(音楽)	4	女
	12	フランス	ポルドー・モンテーニュ大学	2017/9-2018/5	全学間	法文	人文学科	3	女
	13	スペイン	アリカント大学	2017/9-2018/6	部局間	水産	国際食料資源学特別コース	3	男
	14	フランス	レヌ第2-オート・ブルターニュ大学	2017/9-2018/5	全学間	法文	人文学科	4	女
	15	台湾	中興大学	2017/9-2018/6	全学間	法文	人文学科	2	女
	16	ドイツ	ロッテンブルク林業大学	2017/9-2018/8	部局間	農学研	生物環境学専攻	1	男
	17	アメリカ合衆国	サンノゼ州立大学	2018/1-2018/5	全学間	農	生物生産学科	3	女
	18	ドイツ	ロッテンブルク林業大学	2017/9-2018/8	部局間	農	生物環境学専攻	1	男
	19	マレーシア	マレーシアブトラ大学	2018/2-2018/6	全学間	法文	経済情報学科	3	男
	20	ブラジル	アマゾナス連邦大学	2018/2-2018/12	全学間	農	国際食料資源学特別コース	3	男
	21	韓国	釜慶大学校	2018/2-2018/6	全学間	法文	人文学科	2	女
	22	韓国	釜慶大学校	2018/2-2018/12	全学間	法文	人文学科	2	女
	23	台湾	淡江大学	2018/2-2019/1	全学間	法文	人文学科	3	女

出発年度	番号	渡航国	渡航先機関	渡航期間	全学間/部局間	所属部局	所属学科等	在籍学年 (渡航時)	性別
2018年度	24	韓国	釜山大学校	2018/3-2018/12	部局間	法文	法政策学科	2	女
	25	韓国	釜山大学校	2018/3-2018/12	部局間	法文	経済情報学科	2	男
	26	中国	雲南農業大学	2018/3-2019/1	全学間	農学研	生物生産学専攻	1	男
	27	韓国	済州大学校	2018/3-2018/12	全学間	法文	法政策学科	2	女
	28	ドイツ	ミュンヘン大学	2018/3-2019/2	部局間	法文	人文学科	3	女
2018年度	29	ドイツ	ミュンヘン大学	2018/3-2019/2	部局間	法文	人文学科	3	女
	1	ドイツ	ボン大学	2018/4-2019/2	部局間	教育	学校教育教員養成課程(保健体育)	4	女
	2	フィリピン	フィリピンポリテクニク大学	2018/6-2019/3	部局間	人文研	地域政策科学専攻	2	男
	3	オーストラリア	ニューイングランド大学	2018/7-2019/6	全学間	法文	経済情報学科	3	女
	4	オーストラリア	シドニー工科大学	2018/7-2019/6	全学間	法文	経済情報学科	4	男
	5	オーストラリア	シドニー工科大学	2018/7-2019/6	全学間	理	地球環境学科	4	女
	6	スウェーデン	リンシェーピン大学	2018/8-2019/6	全学間	法文	人文学科	4	男
	7	タイ	カセサート大学	2018/8-2018/12	全学間	法文	経済情報学科	3	女
	8	タイ	カセサート大学	2018/8-2018/12	全学間	法文	人文学科	4	男
	9	アメリカ合衆国	サンノゼ州立大学	2018/8-2019/5	全学間	法文	人文学科	3	女
	10	アメリカ合衆国	サンノゼ州立大学	2018/8-2018/12	全学間	法文	経済情報学科	4	男
	11	スペイン	バレンシア工芸大学	2018/8-2019/5	全学間	法文	人文学科	4	男
	12	ドイツ	カール・フォン・オシエツキー大学オルデンブルク	2018/9-2019/7	全学間	教育	生涯教育総合課程(国際理解)	3	男
	13	フランス	レノ第2-オート・ブルターニュ大学	2018/9-2019/5	全学間	法文	人文学科	2	女
	14	台湾	成功大学	2018/9-2019/1	全学間	法文	人文学科	3	女
	15	フランス	ポルドー・モンテーニュ大学	2018/9-2019/5	全学間	法文	人文学科	2	女
	16	フランス	ポルドー・モンテーニュ大学	2018/9-2019/5	全学間	法文	人文学科	3	女
	17	中国	華東政法大学	2018/9-2019/6	全学間	法文	人文学科	2	男
	18	スロバキア	スロバキア農業大学	2018/9-2019/6	全学間	農学研	生物生産学専攻	2	女
	19	スロバキア	スロバキア農業大学	2018/9-2019/6	全学間	法文	人文学科	3	女
	20	ドイツ	カール・フォン・オシエツキー大学オルデンブルク	2018/10-2019/3	全学間	法文	人文学科	4	男
	21	オーストラリア	ニューイングランド大学	2018/10-2019/2	全学間	法文	人文学科	4	女
	22	フィリピン	フィリピン大学	2018/8-2018/12	全学間	法文	法政策学科	3	男
	23	フィリピン	フィリピンポリテクニク大学	2018/10-2019/3	部局間	法文	経済情報学科	3	女
	24	韓国	全北大学校	2019/2-2019/6	全学間	法文	人文学科	2	女
	25	韓国	全北大学校	2019/2-2019/6	全学間	法文	人文学科	2	女
	26	ドイツ	ミュンヘン大学	2019/3-2020/2	部局間	法文	人文学科	3	女
	27	ドイツ	ミュンヘン大学	2019/3-2020/2	部局間	法文	人文学科	3	女
	28	韓国	釜山大学校	2019/3-2019/12	部局間	法文	人文学科	2	女
	29	韓国	釜山大学校	2019/3-2019/12	部局間	法文	人文学科	2	男
30	韓国	釜山大学校	2019/3-2019/12	部局間	法文	法経社会学科	1	男	
2019年度	1	オーストラリア	ニューイングランド大学	2019/7-2020/6	全学間	法文	人文学科	4	女
	2	オーストラリア	シドニー工科大学	2019/7-200/6	全学間	法文	人文学科	4	男
	3	オーストラリア	シドニー工科大学	2019/7-200/6	全学間	法文	法経社会学科	3	女
	4	タイ	カセサート大学	2019/8-2020/5	全学間	法文	経済情報学科	4	女
	5	タイ	カセサート大学	2019/8-2020/5	全学間	法文	人文学科	3	女
	6	スウェーデン	リンシェーピン大学	2019/8-2020/1	全学間	農水研(農)	環境フィールド科学専攻	1	女
	7	アメリカ合衆国	ジョージア大学	2019/8-2020/5	全学間	農水研(農)	農林資源科学専攻	1	男
	8	マレーシア	マレーシアブトラ大学	2019/9-2020/1	全学間	法文	経済情報学科	4	女
	9	フランス	レノ第2-オート・ブルターニュ大学	2019/9-2020/5	全学間	法文	人文学科	3	女
	10	フランス	ポルドー・モンテーニュ大学	2019/6-2020/5	全学間	法文	人文学科	3	男
	11	フランス	ポルドー・モンテーニュ大学	2019/6-2020/5	全学間	法文	人文学科	3	男
	12	フランス	ポルドー・モンテーニュ大学	2019/6-2020/5	全学間	法文	人文学科	4	女
	13	スロバキア	スロバキア農業大学	2019/9-2020/6	全学間	理	生命化学科	3	女
	14	中国	湖南農業大学	2019/9-2020/6	全学間	農水研(農)	食品創成科学専攻	1	男
	15	フランス	欧亜高等管理学院	2019/9-2020/4	部局間	人文研	国際総合文化論専攻	1	女
	16	イタリア	フィレンツェ大学	2019/9-2020/6	部局間	理工研	建築学専攻	2	男
	17	中国	重慶大学	2019/9-2020/7	全学間	法文	法経社会学科	3	女
	18	ドイツ	カール・フォン・オシエツキー大学オルデンブルク	2019/9-2020/7	全学間	理	地球環境科学科	3	女
	19	ドイツ	カール・フォン・オシエツキー大学オルデンブルク	2019/9-2020/7	全学間	法文	法経社会学科	3	男
	20	オーストラリア	ニューイングランド大学	2019/10-2020/9	全学間	法文	人文学科	2	女
	21	フィリピン	フィリピンポリテクニク大学	2019/11-2020/9	全学間	人文研	経済社会システム	2	男
	22	ブラジル	アマゾナス連邦大学	2019/8-2020/7	全学間	農	農林環境科学科	2	男
	23	マレーシア	マレーシアブトラ大学	2019/9-2020/1	全学間	農水研(農)	食品創成科学専攻	1	男
	24	スウェーデン	リンシェーピン大学	2019/8-2020/7	全学間	法文	法経社会学科	3	男
	25	フランス	レノ第2-オート・ブルターニュ大学	2020/1-2020/5	全学間	法文	人文学科	3	女
	26	フランス	欧亜高等管理学院	2020/1-2020/3	部局間	法文	法経社会学科	3	男
	27	マレーシア	マレーシアブトラ大学	2020/2-2020/3	全学間	法文	法経社会学科	2	女
	28	ドイツ	ミュンヘン大学	2020/3-2020/3	部局間	法文	人文学科	2	女
	29	ドイツ	ミュンヘン大学	2020/3-2020/3	部局間	法文	人文学科	3	女
	30	ドイツ	ボン大学	2020/3-2021/1	部局間	教育	国語学科	4	女
	31	ドイツ	ボン大学	2020/3-2021/1	部局間	教育	特別新学科	3	男

※留学開始済のみ掲載

鹿児島大学学生海外留学支援事業

1 鹿児島大学学生海外留学支援事業とは

鹿児島大学の学生が、勉学及び研究のために学術交流協定を締結している海外の大学等へ留学する際に行われる経済的支援です。

2 提出書類等について

- 1) 提出書類：鹿児島大学学生海外留学支援事業申請書（別紙様式）、
受入機関の入学許可書、パスポートの写し
- 2) 提出期限：出発の2か月前まで
- 3) 提出先：国際事業課留学生係(共通教育棟1号館5階)

3 支援額

留学先(国・地域)	支援額上限 (原則として1学期以上1年未満)	2019年度支援実績額 (2019.11現在)
韓国	100,000円	61,000円
アジア(韓国を除く)	200,000円	123,000円
北米・欧州・オセアニア	250,000円	153,000円
その他上記以外の国・地域	300,000円	184,000円

※支援額は予算の都合により減額されることがあります。

4 報告

留学を終えて帰国後、1か月以内に、留学終了報告書に成績証明書または単位取得証明書の写しを添えて、報告書を提出して下さい。さらに後日、留学報告発表を行うことを義務づけます。

5 その他

応募者全員が支援を受けられるとは限りません。

留学支援を受けた場合でも、修学先の機関が発行する成績証明書又は単位取得証明書などの提出がなかったり、疾病等による止むを得ない理由により帰国した場合は原則として半額を、自己都合により留学期間の満了する前に帰国した場合は原則として全額を速やかに返還しなければなりません。

その他、不明な点がございましたら、下記の担当係にお問い合わせ下さい

国際事業課留学生係（共通教育棟1号館5階）

電話番号 099-285-3015

日本学生支援機構 海外貸与奨学金



1. **海外貸与奨学金** 申込を希望する方で、
現在、日本学生支援機構奨学金の貸与・給付を**受けていない場合**

1-1. 奨学金の種類等

	第一種 (海外協定派遣対象)	第二種 (短期留学)	留学時特別増額貸与 奨学金(第二種)
利子	なし	あり	あり
申込資格	留学期間が3か月以上1年以内で、海外留学支援制度の給付を受ける人	留学期間が3ヶ月以上1年以内で、在籍中に海外の大学等に、以下のいずれかの条件で留学を希望する人 (1)本校の協定等に基づく留学 (2)留学により取得した単位が本校の単位として認定される留学	日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申し込んだが利用できなかった人 ※希望する場合は、第一種または第二種の申込時に同時申請が必須です
貸与始期・終期	海外留学支援制度の支給開始～終了まで ※海外留学支援制度の支給期間に変更が生じた場合は手続が必要	貸与始期: 留学開始月 貸与終期: 留学終了月	留学開始後、振込は1回
貸与方法	月額	月額	一時金
貸与金額 (要選択)	2万・3万・4万・4万5千・5万1千円 ※但し、入学年度によって選択できる金額が異なります	2万円～12万の間で1万円刻みで選択	10万・20万・30万・40万・50万円

※その他、申込には条件がありますので、詳細は担当窓口にお問合せください。

留学時特別増額貸与奨学金は、
単独で申込みができません！

1-2. 申込期間

①第一種(海外協定派遣対象) ※2021年度第一種の申請案内は、2021年3月頃公表予定。

第一種	申込期限	初回交付月(※ ¹)
済 第1回	2020年4月15日	2020年年6月
第2回以降	毎月15日	提出期限の翌々月

※¹ 初回交付は、貸与始期まで遡った金額を振込。(海外留学支援制度の支給開始月が未到来の場合は、支給開始月以降に振込。)

②第二種(短期留学) (2020年度)

第二種	留学開始月	申込期間(※ ²)
第1回	2020年4月～2020年7月	2019年12月14日～2020年1月6日
第2回	2020年8月～2020年11月	2020年4月2日～2020年4月27日
第3回	2020年12月～2021年3月	2020年8月2日～2020年8月30日

※² 申込期間を過ぎての申請は認められず、貸与が受けられなくなります。TOEIC等の結果待ち等で留学期間が確定できないときは、早めに相談してください。

2. 海外貸与奨学金 申込を希望する方で

現在、日本学生支援機構奨学金の**貸与型奨学金(国内)**を受けている場合

現在、日本学生支援機構の奨学生で貸与型奨学金(国内)を受けている場合、諸条件を満たしていれば、海外貸与奨学金を申し込まなくても、現在貸与を受けている貸与型奨学金を留学期間中も継続できる場合があります。

それには**現在の奨学金貸与状況の確認**ならびに**手続きが必要**になりますので、奨学金窓口へ申し出てください。

※ 貸与型奨学金(国内)を留学期間中「休止」し、海外貸与奨学金を新たに申し込むことも可能です。

3. 海外貸与奨学金 申込を希望する方で

現在、日本学生支援機構奨学金の**給付型奨学金(国内)**を受けている場合

現在、給付型奨学金(国内)を受けている場合でも海外貸与奨学金を申請することが可能です(「1.」を参照)。

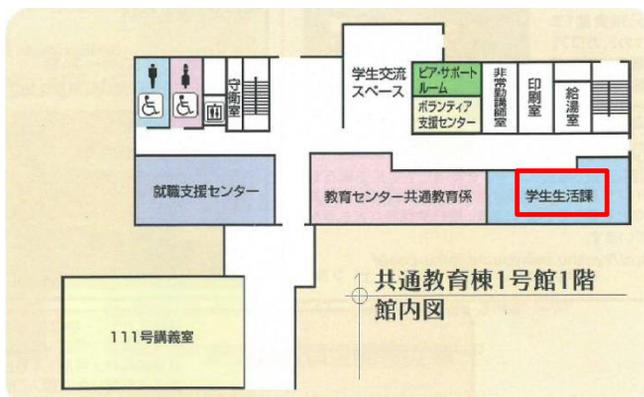
※ 給付型奨学金の採用年度によって「海外留学支援制度(協定派遣)」奨学金との併給を制限される場合があります。海外留学が決まった方は、必ず奨学金窓口へ申し出てください。

奨学金担当窓口

学生生活課経済支援係(共通教育棟1号館1階)

電話番号: 099-285-8154

窓口受付時間: 8時30分~17時(12~13時の対応は要事前予約)



必ず本人が
相談してね!



トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラムとは

「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」は、2014 年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度です。2020 年までの 7 年間で約 1 万人の高校生、大学生を「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」の派遣留学生として送り出す計画です。

派遣留学生は支援企業と共にグローバル人材コミュニティを形成し“産業界を中心に社会で求められる人材”、“世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材”へと育成されます。帰国後は海外体験の魅力を伝えるエヴァンジェリスト（伝道師）として日本全体の留学機運を高めることに貢献することが期待されています。

第 13 期までは、以下のコースがありました。

- (1) 大学全国コース：独立行政法人 [日本学生支援機構の第二種奨学金に掲げる家計基準を満たす学生](#)が対象
- (2) 大学オープンコース：独立行政法人 [日本学生支援機構の第二種奨学金に掲げる家計基準を超える学生](#)が対象
- (3) 地域人材コース：詳細は各地域事業の専用ページ及び各地域協議会のホームページを参照すること
(応募要件や申請締切等は各地域協議会によって異なります)
- (4) 高校生コース（大学生は応募できません）

今年度以降の募集については未定のため、下記には第 13 期募集時の内容を記載しています。今後の募集の有無等については、7 月を目途にトビタテ公式ホームページで通知される予定ですので、今後の詳細についてはそちらをご確認ください。募集がある場合には、別途トビタテ応募説明会を開催予定です。

●日本代表プログラムの 5 つの特徴

POINT 1 多様な活動を支援

交換留学など単位取得を前提としたアカデミックな留学だけでなく、インターンシップやボランティア、フィールドワークなど、多様な活動を支援します。

※日本の大学等に在籍していることが応募条件になりますので、海外への進学は支援対象外です。

※語学習得のみを目的とした留学は支援対象外です。（語学研修が計画の一部に含まれていることは問題ありません）

POINT 2 留学プランを自分で設計

学生が自ら定めた明確な目標実現のために、「実践活動(※1)」が含まれる留学計画を 28 日間から 1 年以内で(※2)自由に(※3)組み立てることができます。

(※1)実践活動とは、座学や知識の蓄積型ではなく、「実社会との接点」から多様な学びを得ることができる学修活動（インターンシップ、フィールドワーク、ボランティア、プロジェクトベースドラワーニングなど、上記の趣旨に沿う多様な学修活動）のことをいいます。

(※2) 3 か月以上を奨励(海外初チャレンジ応援枠での応募者を除く)

(※3)留学先における受入機関が必要

POINT 3 留学事前事後研修が充実

将来の日本に求められる資質や能力を伸ばすため、各界のリーダーによる指導が受けられます。

POINT 4 グローバル人材育成コミュニティ

全国から選ばれた歴代の派遣留学生や支援企業の方々と交流する機会のある「トビタテ！留学 JAPAN」独自のコミュニティに参加できます。

POINT 5 手厚い支援

手厚い奨学金が給付されます。返還の必要はありません。

●派遣留学生の主な要件 ※第13期募集における要件です

- ・日本国籍を有する学生等又は日本への永住が許可されていること
- ・日本の大学、大学院、短期大学、高等専門学校(第3年次以上で専攻科を含む)、専修学校(専門課程)において、卒業又は学位取得を目的とした課程に在籍すること
- ・事前・事後研修及び派遣留学生ネットワークに参加すること
- ・2020年4月1日現在の年齢が30歳以下であること
- ・大学全国コース：(独)日本学生支援機構の第二種奨学金の家計基準を満たすこと
大学オープンコース：(独)日本学生支援機構の第二種奨学金の家計基準を超えること

●留学計画の申請要件 ※第13期募集における要件です

- ・2020年8月10日(月)～2021年3月31日(水)に留学が開始される計画
(第12期：2020年4月1日(水)～2020年10月31日(土)に留学が開始される計画)
- ・留学期間が28日以上1年以内の計画(3か月以上推奨(「海外初チャレンジ応援」枠は除く))
- ・留学先における受入機関を確保できる計画。
- ・日本の在籍大学等が、教育上有益な学修活動と認める計画
- ・実践活動(※1)が含まれている計画
(※1)実践活動とは、座学や知識の蓄積型ではなく、「実社会との接点」から多様な学びを得ることができ
る学修活動(インターンシップ、フィールドワーク、ボランティア、プロジェクトベースドラニングな
ど、上記の趣旨に沿う多様な学修活動)のことをいいます。

●4つの応募コース ※過去の募集におけるコースです

※大学全国コース・大学オープンコース共に下記4つの募集コースがあります。

COURSE1:「理系、複合・融合系人材コース」

理系分野、複合・融合系分野の留学を支援(新興国、世界トップレベル大学等も含む)

※平成30年度より「未来テクノロジー枠」を新設。当コース支援予定人数の3割程度を採用。

先端テクノロジー領域(AI(機械学習等)、データサイエンス、ロボティクス等)に関する
学修やインターンシップ、実験・実習などの実践活動を特に支援します)

COURSE2:「新興国コース」

今後経済成長が期待される新興国での留学を支援

COURSE3:「世界トップレベル大学等コース」

世界大学ランキングで100位以内に位置する大学や、同等の教育レベルにある研究機関への
留学を支援

COURSE4:「多様性人材コース」

スポーツ、アート、国際協力、医療など様々な分野や活動において、今後の活躍が期待できる
人材の留学を支援

●募集スケジュール：現在未定。

鹿児島大学における鹿大「進取の精神」支援基金
学生海外派遣事業（長期派遣留学）実施要項

平成 28 年 7 月 25 日

学長裁定

(目的)

第1 鹿大「進取の精神」支援基金（以下「鹿大基金」という。）にて実施する学生海外派遣事業（長期派遣留学）（以下「長期派遣留学」という。）は、グローバルな視座で革新的に地域を見る目を備え、新たな視点で仕事を創出して地域活性化に資する、将来鹿児島地域の地域で活躍するグローバル人材を育成することを目的とする。

(対象者)

第2 長期派遣留学の対象者は、次に掲げる者とする。

- (1) 本学の学部生又は大学院生であり、かつ、人物及び学業ともに優秀であるとして、所属する学部長又は研究科長から推薦された者
- (2) 鹿児島地域への貢献、活性化に繋がるテーマを持つ海外活動（実地体験も留学を含む）及び地域活性化に寄与する帰国後の活動を含めた留学を企画する者
- (3) 原則として 10 週間以上 1 年未満留学し（1 学期以上推奨）、留学後は帰国して本学に引き続き在籍する者
- (4) 原則として応募時点で受入機関の承諾が得られ、留学が実現可能な者
- (5) 事業年度の 3 月 31 日までに留学を開始する者

(事業年度)

第3 事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わるものとする。

(支援内容)

第4 長期派遣留学は、次に掲げる経費を支援する。

- (1) 留学先機関における授業料相当額（学費・登録料）
 - (2) 奨学金
 - (3) 往復渡航費
 - (4) 保険料
 - (5) その他学長が必要と認める経費
- 2 前項第 1 号の授業料相当額は実費額とし、上限は 300,000 円とする。
- 3 第 1 項第 2 号の奨学金は、下記に定める金額を月額給付する。

留学先（国・地域）	支援額
指定都市	月額 100,000 円
甲地域	月額 80,000 円
乙地域	月額 70,000 円
丙地域	月額 60,000 円

※地域の区分は「国家公務員等の旅費に関する法律」（昭和 25 年法律第 114 号）及び「国家公務員等の旅費支給規程」（昭和 25 年大蔵省令第 45 号）による。

4 第 1 項第 3 号の往復渡航費は、下記に定める金額を上限とする。

留学先（国・地域）	往復渡航費の上限
韓 国	50,000 円
中国・東南アジア	70,000 円
南アジア・オセアニア	100,000 円
北米・欧州	150,000 円
南米・アフリカ	250,000 円
上記以外の国・地域	別途協議

5 第 1 項第 4 号の保険料は実費額とし、原則として鹿児島大学が推薦する海外旅行傷害保険に加入することとする。

（他助成等との重複）

第 5 他助成等からの支援が決定している場合は、他助成等支援と重複する長期派遣留学による支援を辞退しなければならない。

2 前項の辞退を怠り、他助成からの重複支援を受けたことが後日判明した場合、支援額の全額について返納を求めることがある。

（申請）

第 6 長期派遣留学の支援を希望する者は、所定の期日までに所属する学部長又は研究科長の推薦を受けて、別に定める申請書及び関係書類を調べ、学長に申請するものとする。

（受給者の決定）

第 7 長期派遣留学の支援金受給者の選考については、国際交流委員会留学生部会で選考し、学長が決定する。

(報告及び活動)

第8 長期派遣留学を終えて帰国したときは、1ヶ月以内に留学終了報告書、成績証明書、単位取得証明書、海外における活動内容の証明書等の写しを添えて学長に報告するとともに、地域活性化に寄与する活動を行わなければならない。

(返還)

第9 長期派遣留学の支援の受給を受けた者は、別に定められた報告書の提出及び活動がいずれも行われない場合又は疾病等による止むを得ない理由により帰国した場合は半額を、自己都合により留学期間を満了する前に帰国した場合は全額を速やかに返還するものとする。ただし、学長が必要と認めた場合には、この限りでない。

(事務)

第10 長期派遣留学に関する事務は、学生部国際事業課において処理する。

(補則)

第11 この要項に定めるもののほか、長期派遣留学に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成28年7月25日から実施する。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から実施する。

1. 目的

鹿大「進取の精神」支援基金にて実施する学生海外派遣事業（長期派遣留学）（以下「長期派遣留学」という。）は、グローバルな視座で革新的に地域を見る目を備え、新たな視点で仕事を創出して地域活性化に資する、将来鹿児島で活躍するグローバル人材を育成することを目的とする。

2. 対象者及び支援額

鹿児島地域への貢献、活性化に繋がるテーマを持つ海外活動（実地体験も留学に含む）と地域活性化に寄与する帰国後の活動を含めた留学を、当該年度内（4月1日から3月末日まで）に開始する者で、原則として10週間以上1年未満留学し（1学期以上推奨）、留学後は帰国して本学に引き続き在籍する者、かつ応募時点において原則として留学先機関の承諾が得られ、留学が実現可能な正規学生。（科目等履修生や研究生など非正規の学生は対象としない。）
 鹿児島大学学生海外研修支援事業によって採択された授業科目による海外留学を行い、同事業の支援を受ける資格のある者は、原則として本事業に申請できない。
 なお、対象者及び支援額は申請状況を鑑み、当該年度の予算状況によって決定する。

3. 支援経費

- (1) 授業料相当額（大学・大学院を留学先機関とし、留学計画に沿った専門分野を学ぶことを目的とした授業を支援の対象とする。語学の授業料のみの場合は支援対象外。）
- (2) 奨学金
- (3) 往復渡航費（国内航空賃及び国外航空賃）
- (4) 保険料（原則として、大学が推奨する保険のみ）
- (5) その他学長が必要と認める経費

4. 申請手続

次に掲げる申請書類等を提出期限までに、部局にてとりまとめの上、グローバルセンターに提出する。

提出書類	提出期限
1. 申請書（様式1）※紙媒体ならびにデータファイルを提出。 2. 留学先機関の入学許可書または受入を承諾する書類等（学術交流協定校への留学は、原則として鹿児島大学短期留学生選考小委員会の採択結果通知） 3. 他の支援（助成）を受ける場合は、その内容が確認できる書類 4. 成績証明書 5. 語学能力を証明する書類（任意） 6. 授業料相当額が証明できる書類	2020年2月14日（金） ※所属学部・研究科によって、提出期限は異なります。
7. 振込依頼書【配布様式】 8. 通帳写し（見開きページ） 9. 誓約書【配布様式】	出発1ヶ月前まで
10. 支援金支給申請データ【配布様式】 11. 授業料の領収書 12. 旅程の分かる書類 13. 航空券領収書 14. 保険の領収書	出発前まで

15. 月次留学計画進捗報告書及び在籍確認証明書【配布様式】 (メール添付にて提出後、原本を郵送)	毎月5日まで
16. 在籍確認書(派遣先機関用)※留学開始後、留学先機関ごとに1回、1回目の上記証明書と一緒に提出する。	1回目の提出に限り、留学開始5日以内。(開始月に在籍証明をもらい、先月のレポート欄は空欄とする。)
17. 留学終了報告書(様式2)	帰国後1か月以内
18. 搭乗の事実を証明する書類(搭乗券の半券など往復分)	
19. 留学先機関の成績証明書または単位取得証明書、実地活動内容が証明できる書類	
20. 留学後地域活性化活動報告書(様式3)	帰国後概ね1ヶ月以内に活動し、活動終了後1か月以内
21. 計画変更後届(様式4)	変更2ヶ月前まで
22. 卒業後進路届(様式5)	卒業後の進路が決定次第すぐ

※提出書類7以降の様式については、採用決定者への通知時に配布する。

5. 留意事項

- 1) 支援は原則として1回限りとする。
- 2) 授業料相当額(学費・登録料)が明確に区分できない場合は支給しない。
※宿泊費、食費、大学運営経費、研究室運営経費、教材費、実験機器購入費、留学斡旋業者手数料は授業料相当額に含まない。
- 3) 留学開始月及び留学終了月の奨学金については、それぞれの月の留学日数の計によって、下記のとおり支給する。

留学開始月及び終了月の留学日数計	開始月	終了月
31日以内	○	×
32日以上	○	○

- 4) 留学期間中は、「月次留学計画進捗報告書」及び「在籍確認証明書」を毎月、グローバルセンターへ提出する。奨学金は原則として月額支給とし、毎月の在籍確認の後、参加学生の銀行口座に支払う。
- 5) 留学期間とは、原則として「鹿大「進取の精神」支援基金学生海外派遣事業(長期派遣留学)申請書 3. 留学先機関情報及びスケジュール」に記載した留学先機関において活動を開始した日から、その活動が終了した日までを指す。
- 6) 往復渡航費は、原則として事前購入による特別割引を利用することとする。マイレージの取得・利用は自粛すること。複数国に留学する場合、渡航費支援の上限額は、最遠方の国に定める上限金額を適用する。
- 7) 保険は原則として、海外旅行傷害保険及び危機管理に関わる事故対応補償保険に加入すること。これらについては、鹿児島大学が推奨する保険に加入することとし、加入の無い場合は支援しない。
- 8) 留学先が複数国の場合の奨学金支払いについて、支給額が異なる複数地域の場合は、各地域毎に定められた奨学金を滞在した期間に応じて上記3)に従って支給する。ただし、2カ所目以降の留学開始月とその直前の留学先の留学終了月が同一月内の場合は、留学日数の長い地域の開始月か終了月どちらか一方を採用し、原則として同一月内の重複支給を行わない。
- 9) 奨学金支払については、奨学金支給期間の内、各支給対象月に含まれる全日数に及んで原則として留学先国・地域を離れた状態ではないこと。留学中の一時帰国、留学先機関の所在地地域を離れる場合は、奨学金が支給対象にならない月が出る可能性があるため、あらかじめグローバルセンター(下記10. 問合せ先)に確認すること。原則として事後報告は認められない。

6. 選考

支援対象者は、国際交流委員会留学生部会が申請時提出書類等を総合的に判断の上決定し、そ

の結果は部局長等宛に通知する。

7. 留学計画の変更

採用決定後、留学の時期や留学先機関等に変更が生じる場合は、原則として変更 2 ヶ月前までに変更届と支援金支給申請データ【配布様式】を提出すること。変更届により、変更の可・不可を審査する。変更後の計画が当初の計画と比して質が担保されていないと判断された場合は、変更は認められない。原則として、変更した計画を実施中・実施後の変更届けは認められない。地域活性化に寄与する活動の変更については、事前に変更内容をグローバルセンターに連絡して承認を得ること。承認なしに行った場合は奨学金返還になる場合もある。

8. 報告書等の提出

長期派遣留学終了帰国後 1 ヶ月以内に、留学終了報告書（様式 2）に成績証明書、単位取得証明書、又は海外における活動内容の証明書等の写しを併せて提出すること。

また、帰国後、概ね 1 ヶ月以内に地域活性化に寄与する活動を行い、活動終了後 1 ヶ月以内に、留学後地域活性化活動報告書（様式 3）を提出すること。

成果を広く公表するため提出された上記 2 つの報告書は本学ホームページ及び本事業報告書等に掲載する場合がある。

あわせて、本事業が企画するシンポジウム、大学が主催する留学説明会等にて学内外を対象に留学成果報告発表等を行い、留学を啓発する活動を行う義務を課す。

最後に、本事業の事業自己評価等の「1. 大学卒業・修了後の進路等及び地域連携等の実績調査・評価の実施」に供するため、本事業支援金受給者は、卒業後の進路が決定次第その結果を「卒業後進路届」（様式 5）によりグローバルセンターに報告する義務を課す。

9. 支援額の支給

帰国後、提出された授業料相当額（学費・登録料）、往復渡航費及び保険料に関する証拠書類を審査・確認後、速やかに支援決定者の口座に振り込むこととする。なお、領収書及び搭乗の事実を証明する書類（搭乗券など）については原本提出とする。奨学金の支給は、毎月提出される月次留学計画進捗報告書及び在籍確認証明書を審査・確認後、速やかに口座に振込むこととする。

10. 問合せ先

グローバルセンター 大隈

TEL : 099-285-3756 E-mail : global3@gic.kagoshima-u.ac.jp

令和 2 年 ○ 月 ○ 日

鹿大「進取の精神」支援基金学生海外派遣事業（長期派遣留学）申請書

鹿児島大学長 殿

記入例

鹿大「進取の精神」支援基金学生海外派遣事業（長期派遣留学）実施要項に基づき、下記のとおり申請します。

記

1. 申請者情報

ふりがな	かいがい いくよ	性別	女	国籍	日本
氏名	海外 行世 印				
生年月日	1999（平成 11）年 7 月 1 日	応募時年齢	20 歳		
学籍番号	XXXXXXXXXX	所属/学年	法文学部人文学科 2 年		
連絡先	住所：〒890-0056 鹿児島市郡元 1-21-30 メゾングローバル 123 電話番号：080-000-0000 E-Mail: global@xxx.xxx 帰省先住所（該当者のみ）： 東京都品川区羽田 1-2-3				
卒業/修了予定年月日	2023 年 3 月（留学計画も含めて記入してください）				
過去の海外経験	例）台湾（5泊6日）観光旅行、高校修学旅行、グアム（4泊5日）家族旅行 （旅行も含めて、行き先・期間・目的を簡潔に記入してください）				
外国語能力	言語	資格試験名及び得点（取得年月日）		GPA（入学時から応募時の前学期まで）	2.9 ※小数第2位を四捨五入
	英語	TOEIC550 点（2019 年 5 月 20 日） （受験経験がない場合は、「受験経験なし」と記載）			

2. 留学計画の概要

留学計画期間	開始年月日	2020 年 9 月 1 日	終了年月日	2021 年 3 月 28 日
留学計画のタイトル	○○○○ (留学の目的や留学を通じてなりたいたい自分を簡潔に表現してください)			
留学計画の目的と概要（実践活動部分には、下線を引いて下さい）(700 字程度)				
(短すぎる記述は意欲がないと判断され、マイナスポイントになります。以下に続く記述欄も同様)				

実践活動を含む場合は、下記の種別に○を付して下さい。(複数回答可能です)			
インターンシップ (有給)		その他	○
インターンシップ (無給)		その他の活動内容について説明して下さい (活動内容がわかるように具体的に記述して下さい) 例) 留学中に開催される現地の祭りなどで日本を紹介する企画と楽器演奏を行う。	
ボランティア	○		
フィールドワーク	○		

3. 受入れ機関情報及びスケジュール

(1) 受入れ機関情報

	1ヶ所目の機関	2ヶ所目の機関	3ヶ所目の機関
国・地域	カナダ	カナダ	
都市名	トロント	トロント	
機関名 (英語)	△△△ Community College	□□□ Aquarium	
機関名 (日本語)	△△△コミュニティカレッジ	□□□水族館	
受入れ機関 URL	http://www.xxxxxx	http://www.xxxxxx	
受入れ許可書等の有無	有	有	

(2) 留学期間中のスケジュール 留学月数 (7) ヶ月

年月	留学先機関	国・地域	主な活動
2020年 9/1~11/30	△△△コミュニティカレッジ	カナダ	△△△の授業を履修
12/1~5/28	□□□水族館	同上	インターンシップで水族館業務を学ぶ

留学開始から終了まで(休学期間及び復学時期)を図示してください。

2019年	2020年												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
休学開始						留学開始			留学終了				
2021年													
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
復学													

(3) 本基金以外に受給予定（申請予定、申請中含む）の給付型奨学金や給与等の報酬について

受給予定（希望）の給付型奨学金、給与等報酬	有	受給予定総額	24万 円	受給予定月数	3 ヶ月
受給予定月額	8万 円	給付型奨学金・報酬名	〇〇海外留学支援制度	形態(有給インターンシップの給与等)	なし

(4) 授業料申請予定（有）※有の場合金額（現地通貨 3000 カナダドル 又は 円）

(5) 参加予定プログラム（有）（複数選択可）

本学の協定校交換留学	名称記入	本学の協定校交換留学以外のプログラム	名称記入
本学以外の機関による留学プログラム	〇〇プロジェクト		

4. 留学計画を実現・達成するために現在までに取組んでいること（300字程度）

（語学学習や専門知識の学習など、取組みを何でも記述してください。）

5. 留学の成果及びその測定方法（300字程度）

成果発表（論文、作品等）	<input type="radio"/>	単位取得	<input type="radio"/>	その他	<input type="radio"/>
<p>成果発表：帰国後、所属する研究室のゼミで留学中に得た知識を発表する。 単位取得：留学先で〇〇科目を受講し、単位を取得する。 その他：XXXXXXXXXX</p> <p>等々を詳しく具体的に記述してください。</p>					

※当てはまる項目に○を付し、具体的に説明して下さい（複数回答可）

6. 留学後に行う鹿児島地域を活性化する活動及び留学成果を活用して将来鹿児島地域に貢献できること（700字程度）

本基金による支援の趣旨であるため、重要です。

7. 留学によってどのような自分になりたいか、その他自分をアピールできる点について自由に記述して下さい（枚数制限本頁A4・1枚以内）。

以下の2項目について自由に記述してください。

- ① 留学によってどのような自分になりたいか
- ② その他自分をアピールできる点

※フォントサイズ 10 以上

※枚数制限は指示文を含めて A4 1 枚以内

※写真、画像、グラフ等の挿入、貼付けは自由

※作成ソフト自由

令和2年度鹿児島県清華大学留学支援奨学金交付事業 申請要領

1 趣旨

県内大学生等の清華大学留学を支援することにより、国際競争力を備え、学術研究や文化・産業振興、国際貢献等の様々な分野で活躍できるグローバル人材を育成するとともに、次代の日中協力関係を担う若者世代の相互理解の増進を図るため、奨学金を支給します。

2 留学先 清華大学 言語教育センター

3 募集人員 8名（県全体）

4 奨学金の対象経費及び交付金額

奨学金の対象経費は、留学に係る申請料、学費、入院医療保険料及び学生寮費とします。ただし、交付金額は年額30万円を上限とします。

（渡航費、ビザ取得費、現地生活費、海外旅行保険料は対象としません。）

5 留学期間

秋学期の約5か月間（令和2年9月～令和3年1月）

6 受給資格（鹿児島県清華大学留学支援奨学金交付要綱第2条）

奨学金の対象者は、日本国籍を有し、次の各号をすべて満たす者とします。

- (1) 当該年度の4月1日現在、鹿児島県内の大学等（院、短大、高専等を含む）に在籍している者
- (2) 当該年度の4月1日現在、1年以上継続して鹿児島県に居住していること。または保護者が1年以上継続して鹿児島県に居住していること
- (3) 留学で得た知識、経験等を活かして、鹿児島県の国際交流の推進に貢献できること
- (4) 心身ともに健康で、在籍校の学校長の推薦を受けていること
- (5) 清華大学において学習・研究を行うのに十分な外国語（英語又は中国語）の能力を有していること

※ なお、清華大学の募集要項により、応募条件は「年齢18歳～55歳及び大学在學生（一学期の学習を終えた者）又はそれ以上の学歴を持つ者」と規定されていることから、当該条件を満たす必要がありますのでご注意ください。

7 申請方法

大学等は、奨学金の申請があった場合、受給資格の有無を審査の上、申請者から提出された次の書類に推薦書（第5号様式・別表）を添えて、**令和2年4月24日（金）まで**に、担当部署経由で県に提出してください。

- (1) 鹿児島県清華大学留学支援奨学金交付申請書（第1号様式）
- (2) 応募申込書（第2号様式）
- (3) 留学計画書（第3号様式）
- (4) 指導教官等の推薦調書（第4号様式）

8 交付の決定

令和2年4月下旬に、選考基準に基づき決定した結果を大学等に対してお知らせしますので、申請者本人には大学等から通知してください。

9 交付時期及び交付方法

奨学金が清華大学へ入学後、概ね9月末までに次の書類を提出していただきます。大学等は取りまとめの上、県に提出してください。

審査後、10月中旬頃に本人名義の日本国内の口座に奨学金を振り込みます。

- (1) 鹿児島県清華大学留学支援奨学金概算払請求書（第11号様式）
- (2) 清華大学入学通知書の写し
- (3) その他入学した事実が分かる資料

10 報告書等の提出

奨学生には、令和2年10月末及び12月末に修学状況報告書（第9号様式）を提出していただきます（メール可）。

また、留学終了後の令和3年2月末に、学業成果報告書（第8号様式）を添えて、鹿児島県清華大学留学支援奨学金実績報告書（第7号様式）を提出していただきます。いずれも大学等が取りまとめの上、県に提出してください。

11 奨学金交付の取消及び返還

奨学金の受給者が、次のいずれかに該当する場合には、大学等は速やかに報告してください。その場合には、交付決定の全額又は一部を取り消し、既に交付した奨学金の全額又は一部について返納を要求することもあります。

- (1) 申請時の応募資格を喪失したとき
- (2) 申請時の記載内容に虚偽があったとき
- (3) 在籍する大学等において懲戒処分を受けたとき
- (4) 休学や長期欠席等、学業継続の見込みがなくなったとき
- (5) その他奨学生としてふさわしくない行為があったとき

12 新型コロナウイルス感染症等への対応

当該奨学金を交付する留学については、新型コロナウイルス感染症等の状況から、安全が確保できないと想定される場合は、県の判断により留学の中止を要請し、当該奨学金の交付決定を取り消すことがあります。（留学の中止までに支払済の当該奨学金対象経費については、当該奨学金として交付することとします。）

13 その他注意点・依頼

- (1) 申請書に押印する印鑑は、その後に提出する「請求書」や「報告書」に使用する印鑑と同一のものを使用してください。
- (2) 交付決定者が、受給途中で氏名や住所、印鑑等の変更があった場合は、速やかに申し出てください。

【問い合わせ先及び書類送付先】

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
 鹿児島県PR・観光戦略部国際交流課
 交流推進班 青龍（せいりゅう）
 ※4月以降の問い合わせ先
 国際交流係 桃木野（ももきの）
 TEL 099-286-2306 FAX 099-286-5522



令和2年度 鹿児島県清華大学留学支援奨学金 募集案内

鹿児島県では、中国の清華大学へ留学を希望する県内の大学生に対し、一定額の奨学金を支給し、両国の相互理解と友好交流の促進及び次世代の人的ネットワークの構築に貢献できる若い人材を育成します。

【概要】

留 学 先	清華大学 言語教育センター
留学内容	語学留学（中国語）
留学期間	令和2年9月～令和3年1月（約5か月間）

※ 当該奨学金を交付する留学については、新型コロナウイルス感染症等の状況から、安全が確保できないと想定される場合は、県の判断により留学の中止を要請し、当該奨学金の交付決定を取り消すことがあります。（募集要項15を参照）

※清華大学

中国・北京にある総合大学で、習近平国家主席や胡錦濤前国家主席をはじめ、政財界の要人を数多く輩出しており、世界中から優秀な学生や研究者達が集まる中国のトップ大学。

鹿児島県PR・観光戦略部国際交流課

鹿児島県清華大学留学支援奨学金募集要項

1 趣 旨

県内大学生等の清華大学留学を支援することにより、国際競争力を備え、学術研究や文化・産業振興、国際貢献等の様々な分野で活躍できるグローバル人材を育成するとともに、次代の日中協力関係を担う若者世代の相互理解の増進を図る。

2 留 学 先

清華大学 言語教育センター（中国語の語学研修）

3 留学期間

令和2年9月～令和3年1月（約5か月間）

4 募集人員

8名（県全体）

5 支給概要

支 給 額	30万円以内										
支給対象経費	<p>留学に係る申請料、学費、入院医療保険料及び学生寮費</p> <p>〔参考〕必要経費について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 申請料</td> <td>6,800円</td> </tr> <tr> <td>② 学費</td> <td>214,200円</td> </tr> <tr> <td>③ 入院医療保険料</td> <td>6,800円</td> </tr> <tr> <td>④ 学生寮費(150日で計算)</td> <td>102,000～204,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～③は、清華大学「2020年秋学期募集要領」より ④は、清華大学「2019年秋学期募集要領」を参考に記載。今回、清華大学の学生寮の確保が困難な場合は、留学生が住居を探す必要があります。その際は県が協力します。</p> <p>注1) 1元=17円で計算 注2) 今回の留学に係る必要経費については、清華大学から発表される「2020年秋学期募集要領」にて確認してください。</p> <p>※ 上記以外の渡航費、ビザ取得費、現地生活費（食費等）等の諸費用は、支給対象経費に該当しません。</p>	区 分	金 額	① 申請料	6,800円	② 学費	214,200円	③ 入院医療保険料	6,800円	④ 学生寮費(150日で計算)	102,000～204,000円
区 分	金 額										
① 申請料	6,800円										
② 学費	214,200円										
③ 入院医療保険料	6,800円										
④ 学生寮費(150日で計算)	102,000～204,000円										
支給方法	<p>支給対象者の決定後、以下のとおり給付します。</p> <p>①清華大学に入学後、県に対して、「奨学金概算払請求書」を提出していただきます。（令和2年9月末頃） ②審査後、奨学生名義の国内の口座に支給額を振り込みます。（令和2年10月中旬頃） ③帰国後、「奨学金実績報告書」を提出していただき、支給額の確定を行います。（令和3年2月末頃）</p>										

6 応募資格

奨学金の対象者は、日本国籍を持ち、次の各号に掲げる全ての要件に該当する方になります。

- (1) 当該年度の4月1日現在で、鹿児島県内の大学等に在籍している者
- (2) 当該年度の4月1日現在で、1年以上継続して鹿児島県に居住していること。または保護者が1年以上継続して鹿児島県に居住していること
- (3) 清華大学への留学で得た知識、経験等を活かして、鹿児島県と中国との国際交流の推進に貢献できること
- (4) 心身ともに健康で、在籍する大学等の長（以下「学長等」という。）の推薦を受けていること
- (5) 清華大学において学習・研究を行うのに、十分な外国語（英語または中国語）の能力を有していること

※ なお、清華大学の募集要項により、応募条件は「年齢18歳～55歳及び大学在学学生（一学期の学習を終えた者）又はそれ以上の学歴を持つ者」と規定されていることから、当該条件を満たす必要がありますのでご注意ください。

7 受付期間

令和2年3月30日（月）～令和2年4月24日（金）

8 提出書類

- (1) 鹿児島県清華大学留学支援奨学金交付申請書（第1号様式）
- (2) 応募申込書（第2号様式）
- (3) 留学計画書（第3号様式）
- (4) 指導教官等の推薦調書（第4号様式）

9 提出先

所属大学を通じて、鹿児島県PR・観光戦略部国際交流課へ提出

10 対象者決定

各大学からの提出書類をとりまとめ、鹿児島県PR・観光戦略部国際交流課で審査後、令和2年4月下旬に所属する大学を通じて本人に通知します。

11 奨学生の責務

- (1) 清華大学での留学期間中、鹿児島県のPRに努め、学内外で広く交流し、多くの人的ネットワークを構築すること
- (2) 自身が学び経験した歴史や文化、政治経済事情等に関するレポートを提出するなど、鹿児島県の国際交流の推進に協力すること
- (3) 帰国後、県が実施する国際交流事業等に、可能な限り協力すること
- (4) 鹿児島県奨学生としての自覚を持ち、社会規範を遵守して学業等に専念すること

12 報告書の提出

- (1) 清華大学に入学後、10月末と12月末に修学状況報告書（第9号様式）を提出してもらいます。
- (2) また、留学終了後の2月末に、修学レポート及び修了証明書を添えて、学業成果報告書（第8号様式）を提出してもらいます。

13 交付の取消及び返還

次の場合、奨学金の交付決定を取り消し、奨学金の全部または一部の返還を求めることがあります。

- (1) 申請時の応募資格を喪失したとき
- (2) 申請時の記載内容に虚偽があったとき
- (3) 在籍する大学等において懲戒処分を受けたとき
- (4) 休学や長期欠席等、学業継続の見込みがなくなったとき
- (5) その他奨学生としてふさわしくない行為があったとき

14 スケジュール（予定）

時 期	内 容
3月30日～	○ 各学校にて、推薦対象者決定
3月30日～	○ 推薦対象者は、 <u>旅券を取得の上</u> 、インターネットによる留学申請（仮申請）を順次開始
～4月24日	○ 各学校より、県へ推薦
～4月下旬	○ 県が交付対象者を決定、交付対象者に大学を通じて、通知
交付対象者決定後 ～5月15日	○ <u>交付対象者は</u> 、インターネットによる留学申請（本申請）を開始、申請料の支払い完了
7月初旬	○ 清華大学から入学通知書等の送付
7月中旬 ～8月下旬	○ 留学VISA取得等、留学に向けた諸準備、県庁表敬訪問
9月8日	○ 清華大学入学
9月末	○ 県に「奨学金概算払請求書」を提出
10月中旬	○ 県から本人名義の国内口座に奨学金を支給
10月末	○ 県に「修学状況報告書（第1回）」を提出
12月末	○ 県に「修学状況報告書（第2回）」を提出
1月11日 ～1月13日	○ 清華大学の期末テスト
1月18日 ～1月19日	○ 清華大学より修了証明書の発行、受領後に帰国
2月	○ 県庁表敬訪問 帰国報告
2月末	○ 県に「奨学金実績報告書」及び「学業成果報告書」を提出

※ 清華大学側等の都合により、予定を変更する場合があります。

15 新型コロナウイルス感染症等への対応

当該奨学金を交付する留学については、新型コロナウイルス感染症等の状況から、安全が確保できないと想定される場合は、県の判断により留学の中止を要請し、当該奨学金の交付決定を取り消すことがあります。

（留学の中止までに支払済の当該奨学金対象経費については、当該奨学金として交付対象とすることとします。）

16 問い合わせ先

鹿児島県PR・観光戦略部国際交流課国際交流係

TEL 099-286-2306

FAX 099-286-5522

MAIL kouryuu@pref.kagoshima.lg.jp



外国人留学生中国語研修プログラムの募集要項—2020 年度秋学期

1. プログラム概要

清華大学中国語研修生プログラムは外国人留学生の中国語レベルを早く向上し、中国に対する理解を深めることを目標とする。本プログラムは学期ごとに開設されている。各学期は18週で、春学期の開講期間が2月中旬から6月末まで、秋学期の開講期間が9月の初旬から翌年の1月中旬までである。（具体的な日程については、毎年調整があるが、2020年度秋学期の入学日は9月8日、期末テストの日は2021年1月11日～13日、卒業証書の授与日は1月18日～19日。2021年度春学期も勉強を続ける学生は期末テストの後に一時帰国することができる）。

卒業する時、学籍、試験結果、出席率など、大学が定める基準を満たした学生にのみ、卒業証書と成績証明書を授与する。

学生たちが図書館、食堂、体育施設と校内インターネットなどの校内資源を便利に利用できるよう、学校はキャンパスカードを提供する。

2. コース内容

本プログラムは、清華大学言語教育センターにより授業を実施する。授業は毎日4限（毎週月～金曜日）。中国語能力が様々な学生に、より適切に対応するため、新学期の初めに中国語能力試験を実施し、すべての学生が参加しなければならない。

授業は成績により8つのクラス（ゼロ級クラスから高級クラスまで）に分ける。下記の表に書かれた数字は毎週の授業時限数で、1時限は45分とする。

レベル	総合	会話	聴解	読解	作文	総合と討論	必修選択科目
初級一 初級二	8	8	4				
準中級 中級一 中級二	6	6	4	4			
高級一 高級二	6	4		4	2		4
高級三				4	4	8	4

必修選択科目は、ビジネス中国語（上）、ビジネス中国語（下）、中国文化、古代中国語、文法の五つの科目から選択することができる。

3. 申請条件

大学在学（本科、少なくとも一学期を修了）又は大学卒とそれ以上の学歴が必要とする。年齢は18

～55歳。品行方正、体が健康的で、中国の関係法令と大学規則を遵守することができる外国人。

4. 申請時間

春学期入学の学生は前年の10月中旬から11月末まで（祝、休日除く）、秋学期入学の学生は本年の3月中旬から5月中旬まで（祝、休日除く）にすべての申請手続きを終了しなければならない。具体的な申請期間は申請システムがオープンする前に公表する。

2020年度秋学期入学の申請時間：2020年3月15日～5月15日午後17時（北京時間）まで。

5. 申請方法

規定の期間中に、以下の手順に従い、オンライン申請システムで申請手続きを行う必要がある。また、申請者は随時ネット申請の状態を確認し、「查看」（チェック）或いは「編輯」（編集）ボタンをクリックし、本プログラムの管理者からのフィードバックメッセージを読むと同時に、頻繁にEメールをチェックする必要がある。

<http://intl-nondegree.tsinghua.edu.cn/>からオンライン申請システムに入り、申し込み表に記入し、必要となる書類のデータ（※スキャナーで原本をはっきりとカラーキャンした後、アップロードする。携帯やカメラなどで撮影した書類、複写をスキャンしたデータは不可。入学が許可される場合は、入学手続きを行う際に原本を提示する必要がある）をアップロードし申込手續の上、審査結果を待つ。条件を満たさない申し込み表の記入、必要となる書類をアップロードしなかった場合は、申請の提出はできない。ネット申請が拒否される場合は、申請状態が「审核通过」（審査通過）になるまで、拒否理由についての説明に従い、修正・補足もしくは条件を満たす書類を再度アップロードし、再び提出する必要がある。

ネット申請表とネットに提出した申請書類が仮審査に合格した後、申請者向けにオンライン決済システムがオープンされる。申請者は申請料をオンライン決済できるようになる。

申請状態は「申请完成」（申請完成）となるまで、申請者はオンライン申請システムから申請結果を確認できる。

本審査は申請者が提出した書類のデータによって行われる。入学手続き時に、「6 申請書類」（2）に定められた申請書類の原本の提出が必要。申請書類につき、偽造が判明した場合、入学の資格及びビザは取り消される。

6. 申請書類

- (1) 証明写真。合格の場合、学生ICカードの作成に使う。ネット申請に書かれた説明に従い、証明写真を準備しておくこと。不合格の場合は、アップロードできないまた拒否され、申請を完成できなくなる。
- (2) 最高学位証明書。成績表に学位が記載される場合、成績表を提出してもかまわない。大学または大学院在学中の場合、在学証明と成績表を提出すること。学位証明書と成績表は大学が発行した正式なものとする。すべての書類は中国語か英語でなければならない。ほかの言語の場合は、中国語か英語の公証書が必要。なお、すべての書類に必ず申請者のパスポート名を書く必要がある。合格の場合は、原本を提出すること。
- (3) パスポート（写真付きのページ；普通パスポート限り）の写し；すでに中国に滞在している場合、有効なビザと在留許可の写しも必要。

- (4) すでに中国国内の大学等に在学中の場合、所属校の留学生弁公室または学院の推薦状（推薦部署の連絡先付き）が必要。

7. 審査と合格通知

オンライン申請システムで審査の結果を問い合わせることができる。清華大学に合格した学生は、「入学通知書」、「外国来華人員 VISA 申請表」（簡称 JW202 表）、「清華大学留学生寮宿泊予約説明」、「入学手続マニュアル」などが送付される。秋学期入学は、7 月初旬に、春学期の場合は 1 月初旬に入学に関する書類が送付される。

8. ビザの申請と入学手続き

合格者は、パスポート、「入学通知書」、「外国来華人員ビザ（VISA）申請表」及びその他ビザ申請に必要な書類を揃えて、留学生所在国の中国大使館（または総領事館）にビザ（X2 又は X1）申請手続きを行い、ビザを取得した後、これらの書類を持参し、「入学通知書」に記載された期日内に清華大学にて入学手続きを行うこと。

9. 宿泊

新型コロナウイルスの影響で、2020 年秋学期入学の学生に大学の留学生寮の提供はできない可能性が高く、学生が自分で大学外の住居を捜す必要がある。もし寮がある場合、数は極めて少ないかも知れないが、申請時間及び申請方法のお知らせは入学通知書と同封して送付する。

寮の数が限定されているため、予約できなかった学生は、自ら大学外の住居を探す必要がある。

10. 費用（人民元）

- (1) 申請料（返還不可）：400 元
- (2) 学費：12,600 元／每学期（入学手続きをする際に支払う）
- (3) 傷害保険および入院医療保険料：400 元／每学期（入学手続きをする際に支払う）

11. 問い合わせ先

北京清華大学李兆基科技ビル B431-1 教務処非学位教育弁公室中国語研修生プログラム
〒100084
電話：+86-10-62771368
メール：chinese@tsinghua.edu.cn
ホームページ：<http://intl-nondegree.tsinghua.edu.cn/>

12. そのほか

本プログラムに関する情報はホームページの FAQ も、ご参照ください。
大学での生活、ビザなどについて、国際学生学者センターのホームページを、ご参照ください。
<http://is.tsinghua.edu.cn/>

別記第4号様式（第4条関係）

指 導 教 官 等 の 推 薦 調 書			
学校, 学部, 研究科, 学年		推 薦 順 位	_____位 人中
身 分	※ 学部生・大学院生・研究生 短大生・高専生	性 別	※ 男・女
氏 名 (アルファベット表記)	_____ (姓) _____ (名)	国 籍	日 本
生 年 月 日	年 月 日生 (本年4月1日現在で満 歳 か月)		
推薦理由 (面接評価を含む。)			
鹿兒島県清華大学留学支援奨学金奨学生として上記のとおり推薦します。			
令和 年 月 日		推薦者 職 氏名	印

(注1) 本調書は、指導教官等推薦できる立場にある者が記入すること。

(注2) ※印の箇所は、該当するものを○で囲むこと。

(注3) 推薦順位の欄は、担当教官等が記入する必要はなく、大学等の取りまとめ部署において、様式第5号別表どおりに記入すること。

応募申込書

写真添付
3か月以内に撮影
無帽、無背景のもの
(裏面に氏名を記入)
4.5cm×3.5cm

氏名	フリガナ							
生年月日	昭和・平成	年	月	日(満)	性別	男・女	国籍	日本
本人 現住所	〒				電話：			
					FAX：			
					携帯：			
					インターネットメール(携帯メール不可)：			
	※留学開始後も連絡可能なアドレスを記入							
保護者等 連絡先	〒				電話：			
	(氏名)				FAX：			
	(申請人との続柄)				携帯：			
					インターネットメール(携帯メール不可)：			
在籍校	学校名							
	学部名							
	学科名							
	学年							
外国語 能力	中国語	HSK (漢語水平考試)：						
		中国語検定：						
	その他公的試験名 ()： 点・級							

中国語学習歴								
英語	公的試験名 ()： 点・級							
その他	公的試験名 ()： 点・級							
以上のとおり記載事項に相違ありません。募集要項記載事項に同意して、申し込みます。								
令和 年 月 日								
本人署名								印

留学計画書

学校等名

住 所

氏 名

印

1 留学目的

〔清華大学に留学する目的について，記入してください。〕

2 留学計画

〔留学中（大学及び大学以外の活動）の計画について，記入してください。〕

3 県への貢献

〔帰国後、留学成果を活かし、鹿児島県にどのように貢献したいか記入してください。〕

4 自己PR

〔これまでの中国との関わりや学業以外の活動歴、特に知ってもらいたいことなど、自由に記入してください。〕

別記第4号様式（第4条関係）

指 導 教 官 等 の 推 薦 調 書			
学校, 学部, 研究科, 学年		推 薦 順 位	_____位 人中
身 分	※ 学部生・大学院生・研究生 短大生・高専生	性 別	※ 男・女
氏 名 (アルファベット表記)	_____ (姓) _____ (名)	国 籍	日 本
生 年 月 日	年 月 日生 (本年4月1日現在で満 歳 か月)		
推薦理由 (面接評価を含む。)			
鹿兒島県清華大学留学支援奨学金奨学生として上記のとおり推薦します。			
令和 年 月 日		推薦者 職 氏名	印

(注1) 本調書は、指導教官等推薦できる立場にある者が記入すること。

(注2) ※印の箇所は、該当するものを○で囲むこと。

(注3) 推薦順位の欄は、担当教官等が記入する必要はなく、大学等の取りまとめ部署において、様式第5号別表どおりに記入すること。

「UCL 稲盛留学生」制度 概要

鹿児島大学では留学支援制度、鹿児島大学 21 世紀版薩摩藩英国留学生派遣事業「UCL 稲盛留学生」を設立しました。

この制度により、英国の名門校ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）に 1～2 名の修士課程又は博士課程の学生を 1 年間派遣し、稲盛和夫基金を原資として経済的な支援を行います。概要については、以下のとおりです。

詳細につきましては、下記の 2020 年度版募集要項をご覧ください。

<https://www.kagoshimau.ac.jp/international/202021ucl.html>

1. 目的 鹿児島大学憲章に基づき、1865 年の幕末時代の薩摩藩の精神を継承し、「進取の気風」を備えた人材を輩出するため、UCL で学ぶ学生を支援する。
2. 事業概要 年間 1～2 名を UCL への留学候補者として選抜し、UCL からの入学許可を得た者（「UCL 稲盛留学生」）に鹿児島大学稲盛和夫基金を財源として経済的に支援する。
3. 対象者 本学大学院の修士課程、博士課程に在学する者又は入学を予定する者。
4. 支援予定人数 1～2 名
5. 応募要件 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者で、次の(1)～(6)に掲げる全ての要件を満たす者とする。
 - (1) 次のいずれかに該当する者
 - 1) 留学期間終了後、日本を代表するような教育者又は研究者となる意思を有する者。(例えば、「京都賞」を受賞するような研究者となる意思を有する者)
 - 2) 留学期間終了後、日本をリードするような世界的な企業人として活躍する意思を有する者。(例えば、稲盛和夫鹿児島大学名誉博士のような経営者となる意思を有する者)
 - 3) 留学期間終了後、1) 又は 2) に類する活動を行う意思を有する者
 - (2) 本制度による支援を受けて自身が留学で得た経験や成果を将来にわたって鹿児島大学及び日本社会に還元し、鹿児島大学や日本社会に貢献する者で、本学が依頼する各種イベントへの参加や調査等に協力する者
 - (3) 本学大学院の修士課程及び博士課程に在学する者又は入学を予定する者
 - (4) 現所属学部又は研究科入学時から応募時の前学期までの GPA が 3.0/4 以

上の者。ただし、UCL の希望するプログラムが求める学業成績係数を具体的点数として明示している場合は、希望プログラムが求める学業成績係数以上である者

(5)UCL への入学日から過去2か年以内に受験した英語能力が次の水準以上である者

IELTS の得点が 6.0 (Academic Module)、TOEFL の得点が PBT (Paper-Based-Test) 550 点、iBT (internet-Based-Test) 80 点以上であること。ただし、UCL の希望するプログラムが求める英語能力水準を具体的点数で明示している場合は、希望プログラムが求める英語能力以上を有している者

(6)UCL での勉学に耐えられる健康状態（心身ともに）である者

(7)所属（予定）研究科長（以下「研究科長」という。）の推薦を得られる者

(8)その他鹿児島大学長が必要と認める条件を満たす者

6. 支援内容 ロンドンへの往復渡航費、ロンドンでの1年間の滞在費、UCLの授業料、その他留学のために必要と認められる経費

7. UCL での身分 アフィリエイト スチューデント（鹿児島大学に在籍しながら単位取得のためにUCLの授業を受講し、通常のUCLの正規学生と同じ扱いを受ける学生

8. 派遣時期 毎年9月頃

9. 募集時期 派遣前年の9月～11月頃を予定

10. 応募時期 派遣年の3月

11. 問合せ先 学生部国際事業課留学生係 TEL 099-285-3124（平日：8:30-17:15）

E-mail: ryugaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp



City of Perth

※この情報は2019年度募集のもので、既に終了しています。また2020年度の実施は、コロナウイルスの影響により中止となりました。2021年度の開催については、2021年4月頃決定します。

PERTH UNIVERSITY PROGRAM

FOR IMMERSIVE LANGUAGE STUDIES

2019年度パース市イマージョン英語プログラム (PUPILS)

プログラム期間： 2019年8月17日(土)～9月21日(土) 5週間

プログラム概要：

- － UWA CELTにおける5週間(100時間)の英語学習
- － パース市民の家庭にホームステイ(5週間)
- － UWAを通じたボランティア活動に参加
- － UWA日本語受講学生との交流に参加
- － パース市が企画する種々の交流活動に参加

派遣人数：5名

パース市から支援される経費

－ 5週間の英語研修の学費全額、5週間のホームステイ費用全額 計AUD\$4110

参加者が負担する費用

－ パースまでの往復渡航費、海外旅行保険料、オーストラリア公式電子査証ETAS申請料、その他の費用

公募締め切り：2019年5月24日(金) 国際事業課17時必着

※各学部の提出期限を事前に所属学部を確認すること。

※公募の詳細については、HPを御確認ください。

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/international/2019pupils.html>

問い合わせ：国際事業課留学生係

電話：099-285-3124

email: ryugaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp



City of Perth



PERTH-KAGOSHIMA
SISTER CITY RELATIONSHIP

募集要項

1. プログラムの目的

パース市イマージョン英語プログラム（以下、「PUPILS プログラム」という。）は、鹿児島市と姉妹都市である豪州パース市の経済的支援により、本学学部生を5週間パース市に派遣して、西オーストラリア大学 Centre for English Language Teaching（以下「UWA」「CELT」という。）の英語コースでコミュニケーション能力を高めつつ、ホームステイを始めとする市民との様々な交流やボランティア活動への参加等によってパース市への理解を深め、人的ネットワークを構築し、将来にわたって両市の友好関係を強めるとともに、将来国際社会に貢献できる人材の育成に寄与することを目的とする。

2. プログラム期間 2019年8月17日（土）～9月21日（土）5週間

3. プログラム概要

- － UWA CELT における5週間（100時間）の英語学習
- － パース市民の家庭にホームステイ（5週間）
- － UWA を通じたボランティア活動(UWA Student Guild Volunteering)に参加
- － UWA 日本語受講学生との交流に参加
- － パース市が企画する種々の交流活動に参加

4. 派遣人数

5名

5. パース市から支援される経費

- － 5週間の英語研修の学費全額
- － 5週間のホームステイ費用全額 計 AUD \$ 4110

6. 参加者が負担する費用

- － パースまでの往復渡航費
- － 海外旅行保険料 ※鹿児島大学が推薦する海外旅行傷害保険に必ず加入すること。
- － オーストラリア公式電子査証 ETAS 申請料 ※日本国籍以外でビザの必要な者は自身で申請すること。
- － その他の費用

7. 応募者の要件

次の(1)～(10)に掲げる全ての要件を満たす者とする。

- (1) 本学の学部にて正規生として在籍する者
- (2) パース市と鹿児島市の歴史ある姉妹都市関係を理解し、両市の友好関係の深化に貢献する意欲のある者
- (3) パース市を SNS 等を通じて世界に発信できる者
- (4) 英語を使って積極的にコミュニケーションを図る意欲のある者
- (5) 英語能力の向上だけでなく、プログラムで行う活動に積極的に参加し、活動を通じた幅広い学びに強い意欲を持つ者
- (6) パース市民、ならびに UWA の学生や他国の留学生等と積極的に人的ネットワークを構築し、プログラム終了後もネットワークを活用する意欲のある者
- (7) 自身が本プログラムで得た能力や成果を鹿児島大学、パース市、鹿児島市、日本および国際社会に還元し、将来それらに貢献する意欲のある者
- (8) パース市や本学が依頼する各種イベントへの参加や調査等に協力する者

- (9) 心身ともに PUPILS プログラム参加に耐えうる健康状態である者
- (10) その他鹿児島大学長が必要と認める条件を満たす者

8. 申請書類等の作成及び提出

応募者は、次に定める応募者申請書類等を作成し、所属学部 of 学生係又は教務係に提出してください。

応募者申請書類等：

- 1) 申請書（様式1）
- 2) 英語 志望動機書 (Motivation letter)（「作成上の注意」を参照して作成すること）
- 3) 日本語 志望動機書（様式2）
- 4) 学業成績証明書（GPA の記載のあるもの）ただし、新1年生は提出する必要なし。
- 5) 英語能力を証明する書類（新1年生は応募に提出が必須）
- 6) 推薦状（様式3）

9. 国際事業課への申請書類等の提出期間

2019年5月24日（金）17時必着

※上記提出期限は、取りまとめの学部から国際事業課への提出期限となるので、応募者は、各学部の申請書類提出期限を確認すること。

※所属学部の提出期限：2019年 月 日（ ）

10. 参加者の選抜方法

次の二段階審査で5名の参加者を選抜する。

- (1) 第一段階審査：学内での書面審査及び面接
- (2) 第二段階審査：パース市による書面審査

次の項目を審査の参考とする。

- 1) 志望動機書（日本語と英語）
- 2) 学業成績
- 3) 英語能力
- 4) コミュニケーション能力及び異文化への適応能力

11. 採否結果

2019年7月上旬を目途に所属学部を通して採否結果を通知する。

12. プログラム参加にあたっての義務

- (1) パース市を SNS 等を通じて英語と日本語で世界に発信すること。
- (2) 留学終了レポート
留学終了後、パース市に提出する英語レポート、ならびに本学に提出する日本語レポートを指示に従って作成し、国際事業課に提出すること。
- (3) 留学状況報告
プログラム期間中は、本学担当者に毎日その日の状況報告をメール送信すること。

14. その他の留意事項

- (1) 参加者は、各自において事前にパース市及び鹿児島との姉妹都市関係に関する情報収集に努めること。また、留学にあたっては、現地の安全情報に十分注意し、留学開始前、留学期間中、終了後にわたって国際事業課と連絡を密にすること。
- (2) 選抜された者が、下記の事項に該当する場合、参加を取り消す場合がある。
 - 1) 7. に掲げる要件を備えなくなったとき。
 - 2) 8. に定める申請書類等の記載事項に虚偽が発見されたとき。

- 3) 選抜後に提出する誓約書に違反する行為があったと認められるとき。
- 4) パース市又は本学が、参加者の留学継続が困難であると判断したとき。
- 5) その他、上記以外の事項により留学の中止が適当であると認められるとき。

15. 個人情報の取扱

提出された個人情報は、本事業実施のために利用する。また、この利用目的の適正な範囲において、必要に応じて他機関に提供され、その他の目的には利用しない。

16. 本件照会先

学生部国際事業課留学生係

電話：099-285-3124、3015（平日：8:30-17:15）

E-mail: ryugaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

本募集要項、申請書類等は、以下ホームページからダウンロード可能。

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/international/2019pupils.html>

年 月 日

PERTH UNIVERSITY PROGRAM FOR IMMERSIVE LANGUAGE STUDIES 2019

2019年度パース市イマージョン英語プログラム (PUPILS) 申請書

鹿児島大学長 殿

PERTH UNIVERSITY PROGRAM FOR IMMERSIVE LANGUAGE STUDIES 2019

2019年度パース市イマージョン英語プログラム (PUPILS) 募集要項に基づき、下記のとおり申請します。

記

申請者情報

ふりがな			性別	
氏名	印			
生年月日			応募時 年齢	
学籍番号		所属/学年		
指導/担任教員	所属	氏名		
連絡先 (本人)	住所： 電話番号： E-Mail：			
連絡先 (緊急連絡先)	氏名： 続柄： 住所： 電話番号： Em-Mail：			
過去の 海外経験	例) 台湾旅行、高校修学旅行 (5泊6日)、オーストラリア、語学留学 (1か月)			
英語能力	スコア	資格試験名 (取得年月日)		GPA (入学時 から応募時の 前学期まで)
	例) 1980点	例) 英検2級 (2018年3月)		

パース市イマージョン英語プログラム (PUPILS)
英語 志望動機書 (Motivation Letter) 作成上の注意

1. 本志望動機書の使用目的

本志望動機書は、本学の書面審査で使用するとともに、パース市による最終選考の判断基準となる。

2. 分量など

A4 サイズ 2 枚以内。Font size 11、Font は Arial でタイプすること（自筆は受け付けない）。余白の設定は任意とするが、読み手に配慮して読みやすいアレンジとすること。適宜写真等を貼り付けても構わない。

3. 内容

以下の項目の内容について、文章形式にまとめて自分の考えを述べること（項目は順不同。項目に対する答えを箇条書き形式で書く形式はとらない）。

- 1) 自己紹介と自己アピール
- 2) 自身が設定する留学の目的と目的達成の測定・検証方法
- 3) 留学目的を達成するために現在取組んでいること
- 4) 留学中、留学後を通してパース市と鹿児島市の友好関係にどのように貢献するか
- 5) SNS 等を通じたパース市に関する情報発信についてのアイディア(内容、想定する読者、メディア、頻度等)
- 6) パース市民、UWA 学生、他国の留学生との人的ネットワークをどのように作るか、それを将来にわたってどのように活用するか
- 7) この留学成果を将来の自分にどう活かすか

年 月 日

PERTH UNIVERSITY PROGRAM FOR IMMERSIVE LANGUAGE STUDIES 2019

2019年度パース市イマージョン英語プログラム (PUPILS) 日本語志望動機書

申請者情報

ふりがな		性別	
氏名			
生年月日		応募時 年齢	
所属/学年		指導/担任教員	

志望動機等

このプログラム で留学する目的	
留学目的を達成 したかどうか検 証や測定をする 方法	
現在、留学目的 を達成するた めに準備して いること、取 組んでいるこ と	
パース市につ いて興味があ ること	
留学中、留学後 を通してパース 市と鹿児島市 の友好関係に どのように貢 献するか	

<p>SNS 等を通じた パース市に関する 情報発信につ いてのアイディ ア（内容、想定 する読者、メデ ィア、頻度等）</p>	
<p>パース市民、西 オーストラリア 大学生、他国の 留学生との人的 繋がりをものよ うに作るか、将 来それをどのよ うに活用するか</p>	
<p>この留学で得ら れる成果を将来 の自分にどう活 かすか</p>	
<p>その他自分をア ピールできる点</p>	

推薦状

申請者 _____ をパース市イマージョン英語プログラム奨学生として下記のとおり推薦します。

推薦理由

年 月 日

推薦者 氏名： 印
被推薦者との関係：

鹿児島大学を通して応募する海外研修・海外留学一覧

2020/7/22現在

事業名	渡航先国・大学・機関等	実施時期・期間	概要	注意	海外滞在中の在籍身分	就活・卒業時期への影響	周知法・説明会	報告会・報告書	申請時期	申請方法	成績・語学要件	支援金
1	鹿児島「進取の精神」支援基金学生海外研修支援事業P-SEG海外研修（共通教育科目）	米国、中国、台湾、シンガポール、タイ、ベトナム、ミャンマー、トルコ など（年度によって研修に変更あり）	8月-9月、2月-3月 各研修の決定する時期 (1週間から1ヶ月程度)	各研修の事前学習に加え、P-SEG海外研修は、原則として事後学習に共通教育科目「グローバルコミュニケーション概論」を受講する。	共通教育科目の集中講義として実施する。集中講義は一学期に一つしかとることのできないため、注意が必要。地元企業等の寄付金による支援をうけるため、研修成果の地域への還元が期待される。	在籍のまま	なし	P-SEG海外研修報告会（5月、11月）、及び研修終了に開催する報告会 報告書提出（大学手に掲載する場合はあり）	4-5月、10-11月頃申請	各研修の担当教員等に直接申し込み。	各研修で設定	各研修により異なる
鹿児島「進取の精神」支援基金学生海外研修支援事業P-SEG海外研修（学部専門科目・大学院科目）	米国、韓国、台湾、カナダ、ドイツ・フィンランド・フランス、インドネシア、タイ、フィリピン、ミャンマーなど（年度によって研修に変更あり）	適年（各研修の決定する時期） 11週間から3ヶ月程度	各研修によって異なる	学部・大学院の専門科目として実施する。他学部受講可能（全学共通）のものも特定時期向けの研修がある。地元企業等の寄付金による支援をうけるため、研修成果の地域への還元が期待される。		在籍のまま	なし		各研修で期限を設定			
2	学術交流協定校または外国政府・機関等が実施する長期・短期「短期研修」	フランス、台湾、ベトナム、韓国、スウェーデン、インドネシア、オーストラリア等	長期・各月に1週間～1ヶ月程度	各短期研修によって異なる	※鹿児島大学が行う短期研修ではない	在籍のまま（但し期間によっては休学も必要）	「休学」の場合は卒業が遅れる	各研修先に提出する場合はある。大学への報告書はなし	各短期研修によって異なる	自費事業課留學生係に申請書類等を提出	各短期研修によって異なる	なし
3	【PUPILS】パス市イマージョン英語プログラム	オーストラリア（パス市） オーストラリア大学（UWA） 英語教育センター（CELT）	8月-9月の5週間	鹿児島市とパス市の姉妹関係に基づいてパス市から助成を受ける。そのため、鹿児島市の代表として自費が必要。申請書類が優先される。書生活や授業で他国の留學生とともに学ぶため、ある程度の英語会話力も必要。	鹿児島市とパス市の姉妹関係に基づいてパス市から助成を受ける。そのため、鹿児島市の代表として自費が必要。申請書類が優先される。書生活や授業で他国の留學生とともに学ぶため、ある程度の英語会話力も必要。	在籍のまま	なし	・派遣留学説明会（7月、10月） ・ホームページ https://www.kagoshima-uac.jp/international/ ・P-SEG ML等による通知 ・研修ウェブ	5月申請（6月面接）	所属学部の学生係又は教務係に申請書類等を提出	なし ※英語での志望動機欄あり	1. パス市からの支援経費（2019年度実績：AUD\$4110） ・全道の英語研修費 ・滞在外ホームステイ費 2. その他経費は自己負担 ・往復航空費 ・海外旅行保険料（学研交付滞海外学の実費） ・オーストラリア公式電子直証印TAS申請料
4	【清華大学】鹿児島県清華大学留学支援奨学金交付事業	中国 北京市 清華大学	9月-翌1月	中国トップクラスの清華大学で世界各国の留學生とともに、6ヶ月間の中国語学習を行う。現地企業観光客との交流もできる。	鹿児島県からの助成を受けるため、県代表として自費が必要。申請書類が優先される。書生活や授業で他国の留學生とともに学ぶため、ある程度の英語会話力も必要。	「留学」※「留学」期間中中大授業料を納付する必要はある	「留学」※「留学」期間中中大授業料を納付する必要はある	滞在外への表紙が印刷 報告書提出（大学手に掲載する場合はあり）	3月中旬申請	所属学部の学生係又は教務係に申請書類等を提出	なし 但し、中国語能力が優先される。	1. 鹿児島県からの支援経費（30万円以下） ・留学に係る申請料 ・学費 ・入国医療保険料及び生活費 2. 鹿児島大学学生海外留学支援事業 ※年度別奨学金により変動し、上限額を支援金額は年度によって変動し、上限額を下回る。その他の経費は自己負担 ・派遣先大学の授業料は納付する。鹿児島大学の授業料は納付する。 ※鹿児島県によって、留学学校の授業料納付が必要 ・海外旅行保険料（学研交付滞海外学の実費）
5	【協定校派遣留學生制度】交換留学（大学間） 学術交流協定校一覧参照 国際事業課のホームページ等 https://www.kagoshima-uac.jp/international/ https://www.kagoshima-uac.jp/kokusai/ ※外務省海外安全情報（危険レベル2以上の国・地域には留学できない）	（大学間）学術交流協定の学生交流の得意書に基づき派遣留學生として、各校で学費・生活費等を負担する。語学能力が不足する場合は、派遣先大学等で語学学習を行う場合もある。	1学期～1年間 ※長期研修は、派遣先大学のアカデミックレターに従って学習の開始・終了に合わせる	大学の協定に基づいて交換留学し、大学からの助成を受けるため、鹿児島大学の代表としての自費が必要。※長期研修においては、留学学校の授業料納付が必要。金額は大学によって異なる。※大学間協定校のみ、鹿児島大学の申請書（各1名～3名まで）と、最大学生を1つでも記載する場合は、TOEFL、TOEIC、IELTS、実用英語技能検定（英検）のいずれかの証明書の提出。	「留学」※「留学」期間中中大授業料を納付する必要はある	「留学」※「留学」期間中中大授業料を納付する必要はある	「留学」※「留学」期間中中大授業料を納付する必要はある	「留学」※「留学」期間中中大授業料を納付する必要はある	11月申請（12月中旬面接）	所属学部の学生係又は教務係に申請書類等を提出	米・露大学の書類書における採用の目安TOEFL iBT 25以上 Writing 17以上、TOEIC570以上、IELTS 6.0以上、英検準1級合格のいずれか1つ。英語以外の協定校では、留学条件が設定されている場合もある。	1. JASSO海外留学支援制度（協定派遣） ・月額6万円～10万円 ・学費免除枠あり。また、成績や志望書等の資格・要件あり。 2. 鹿児島大学学生海外留学支援事業 ※年度別奨学金により変動し、上限額を支援金額は年度によって変動し、上限額を下回る。その他の経費は自己負担 ・派遣先大学の授業料、入学科及び授業料等は納付する。鹿児島大学の授業料は納付する。 ※鹿児島県によって、留学学校の授業料納付が必要 ・海外旅行保険料（学研交付滞海外学の実費）
6	鹿児島大学21世紀版種学連英留學生派遣事業（UCL派遣留學生）	英国ロンドン ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）	9月下旬-翌6月上旬	英国の名門校ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）に1～2名の修士課程の留學生を1年程度派遣し、ファイナリエット・ステュデント（鹿児島大学に在籍しながら単位取得のためのUCLの授業を受講し、通常のUCLの正規学生と同様の扱いを受ける学生）として、約80あるプログラムの1つを受講する。	福産和夫基金から助成を受けるため、鹿児島大学の代表としての自費とともに、授業日本や世界に貢献する有為な人材になるという意思と努力が必要	「留学」※「留学」期間中中大授業料を納付する必要はある	「留学」※「留学」期間中中大授業料を納付する必要はある	報告書提出（大学手に掲載する場合はあり）	10月申請	所属学部の担当係に申請書類等を提出 ※学内選抜後、UCLから入学許可を得る必要がある。	【学内申請要件】 IELTS6.0以上、TOEFL iBT184以上 英語の成績評価値（GPA）が3.0以上	1. 本事業の支援経費 ・往復航空費（上限30万円） ・ロンドンでの滞在費（月額1500ユーロプラス） ・UCL授業料 ・海外旅行保険料（学研交付滞海外学の実費） 2. その他経費は自己負担
7	トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム	応募者の計画による。複数国、地域も可能。 ※外務省海外安全情報（危険レベル2以上の国・地域には留学できない）	2.8日間から1年以内（3か月以上を奨励）	官民協力の海外留学支援制度。応募者が立てた留学計画を支援。交換留学を含む大学の留学（留学先はなし）、オンラインセッション、ボランティア、フィールドワーク等、学校に行かない多様な活動計画を支援する。各国のリーダーによる指導や、替代トビタテ生や支援企業の方々と交流のある独自のコミュニケーションに参加できる。	トビタテ！は応募前にお見直し、トビタテ！の応募は本学で一括して行うため、応募スケジュールと手続きは必ず本学のHPを確認すること。 https://www.kagoshima-uac.jp/kokusai/「News & Topics」欄	「休学」※「休学」期間中中大授業料を納付しない	「休学」※「休学」期間中中大授業料を納付しない	トビタテ！主催の報告会あり トビタテ！報告書提出	学内申請 次回未定	所属学部の学生係又は教務係に申請書類等を提出し、所定の期日までに応募計画書をグローバルセンター所定のアドレスに提出する。	なし	1. 本事業の支援経費 ・奨学金 ※条件により月額6万円・12万円・16万円 ・留学準備金 ※条件により15万円・25万円 ・授業料（30万円） 語学の授業料のみの場合は、支援対象外 2. その他経費は自己負担 ・海外旅行保険料（学研交付滞海外学の実費） 3. その他経費は自己負担
8	鹿児島「進取の精神」支援基金学生海外派遣事業（長期派遣留學生）	応募者の計画による。複数国、地域も可能。 ※外務省海外安全情報（危険レベル2以上の国・地域には留学できない）	10週間以上1年未満	将来鹿児島県で活躍するグローバル人材育成を目的とした支援制度。応募者が立てた、鹿児島県への貢献、活性化に繋がるテーマを持つ海外活動に支援。協定校への交換留学は不可。大学への留学の必要なオンラインセッション、ボランティア、フィールドワーク等、学校に行かない多様な活動も支援する。	地元企業・団体及び鹿児島大学教職員の寄付金から助成を受けるため、基金の目的を自覚して留学するとともに、帰国後、地域活性化に寄与する活動を行う必要がある。	「休学」※「休学」期間中中大授業料を納付しない	「休学」※「休学」期間中中大授業料を納付しない	報告書提出（大学手に掲載する）	2月申請	所属学部の学生係又は教務係に申請書類等を提出	なし	1. 本事業の支援経費 ・奨学金（月額6万円～10万円） ・往復航空費（上限6万円～25万円） 航空費代のみ授業料（30万円） 語学の授業料のみの場合は、支援対象外 2. その他経費は自己負担 ・海外旅行保険料（学研交付滞海外学の実費） 3. その他経費は自己負担

